経済的で手軽にぬえる
真夏の簡單着集
実物大型紙48種つき
主婦と生活8月号付録

アトラス毛糸

東亜紡織株式会社 特製品

手軽にぬえる
サンマードレス
―全部実物大型紙つき―
（作図に　　　よる仕立方も発表）
セーラーカラーの若向き流行ドレス
（デザイン　諸岡美津子）
⑦
衿もとの涼しげな前あきの着やすいドレス
（デザイン　鈴木宏子）
④
Ⓐ
③
②
①
ウィングカラーの一般向きワンピース
（デザイン　笹原紀代）
（FMC　和多田泰子さん）
上段円内の白ブラウスはスカートと合わせて着ることもできます
（大映　南田洋子さん）
Ⓑ
⑥
⑤
（FMG　井沢有多子さん）
②③⑤⑥⑧⑨はそれぞれ①④⑦の応用スタイルで型紙つきです。
カット　柳原操
⑨
⑧

① 通勤にも外出にも向く若向きのワンピース
—仕立方は全部本文に発表—
⑤ ジュニアー好みの前あきのプリンセス型ワンピース
（東映 水木麗子さん）
⑥ 胸まわりをゴムカタンでぬいちぢめた家庭着や海浜着によいスタイル
（水原久美子さん）
—デザイン—
①⑥ 近藤百合子
② 諸岡美津子
⑤ 野口益栄
⑦ 小池千枝
⑨ 池田淑子
⑩ 桑沢洋子
⑧⑪⑭ 山田禎子
② 大柄格子を効果的に扱った涼しいワンピース
—実物大型紙つき—
③
（大映 南田洋子さん）
④
⑦ スカートとウエストにショーツを合わせた軽快なセパレーツ
（FMG 原田良子さん）
（大映 久我美子さん）
⑦のスカートをぬいで、共布のショートパンツを着た、海浜着にふさわしいスタイル。仂き着としても重宝なセパレーツです。

涼しく工夫した…
流行盛夏服
②〜④⑪〜⑯は実物大型紙つき
（②⑭は作図による仕立方も発表）
⑩
ハイウエストのモダンな若向き
（大映 三條美紀さん）
⑧に白ピケのボレロを着たところ
⑧
⑭
はつらつとしたセーラー風のサンマードレス
―実物大型紙つき―
（FMG 森貝光子さん）
⑨
⑪
セーラーカラーの七、八歳用ドレス
―実物大型紙つき―
（松竹 野添ひとみさん）
縞のドレスに白ボレロをそろえたお嬢様用セット
③④⑫⑬⑮⑯はそれぞれ②⑪⑭の応用スタイルで型紙つきです
ウィングカラーとフレヤースカートが若々しいドレス
（FMG 井沢有多子さん）
カット 柳原操
⑯
⑮
⑬
⑫

こどものあそび着
—全部実物大型紙つき—
一、二才用の可愛いロンパース
水玉と縞でアップリケしたヨットが涼しそうな、配色で女児用にもなるロンパース。
①
デザイン 竹内菊代
熊さんアップリケの三、四才用
脇を紐結びにしたエプロン風のブラウスと共のブルマースの一揃いです。
④
デザイン 木崎都代子
少ない布地でつくれる
五、六才用の縞のワンピース
胸のボタンがアクセントの、わずかの布でできる簡単着。ベルトをしめてもよいでしょう。
⑦
デザイン
⑨
⑧
⑥
⑤
③
②
肩で吊紐を結んだ二、三才用
簡単にぬえるロンパースで、吊紐で丈が調節できますからよちよちの頃から着られます。
⑩
カット 柳原操
カットはそれぞれ写真のスタイルの応用スタイルで、型紙つきです。
デザイン 小笠原のぶを
四、五才用のヘルタードレス
肩を大きなバックル止めにした海や山での遊び着にふさわしいもの。布はリップルです。
⑬
デザイン 田辺静江
ひよこをアップリケした五、六才用
ひよこのポーズを全部かえてアップリケした、遊び着から外出用にもなるスタイルです。
⑯
デザイン 原田茂
⑱
⑰
⑮
⑭
⑫
⑪
MINORI

仕立のらくな
可愛らしい
女児服
—仕立方は本文に発表—
① 後衿ぐりで吊紐を結んだ一、二才用ロンパース（田中千代）
② お魚刺繍のブラウスと縞のパンツの一、二才用（竹内菊代）
③ 飛魚をアップリケした一、二才用ロンパース（小笠原のぶを）
④ 五、六才用のボレロつきワンピース（小笠原のぶを）
⑤ スタンドカラーの二、三才用（近見弥生）
⑥ 衿と身頃に縦縞を通した六、七才用（山田禎子）
⑦ 縁布で引き立てた九、十才用簡単着（南塚トキ）
⑧ 残り布利用の三、四才用ボレロつきの遊び着（南塚トキ）
⑧にボレロを着たところ
④にボレロを着たところ

① 上下つづきの五、六才用遊び着（原田茂）

② エプロン風の二、三才用いたずら着（笹原紀代）

③ 象さんアップリケの三、四才用（近見弥生）

③に可愛いボレロを着たところ

④ 脇を紐で結んだ、サックコートとしても着られる赤ちゃん用の涼しいドレス（山田禎子）

⑤ 五、六才用の軽快な上下（笹原紀代）

―実物大型紙つき―

⑥ ⑦ ⇧⑤の応用 スタイル型紙つき

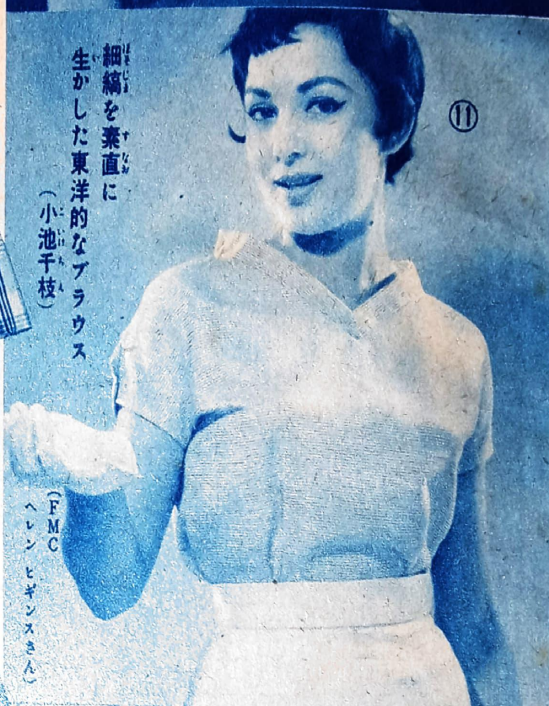
⑭ 七、八才用のブラウスとタックをたたんだスカート（池田淑子）

⑮ セーラーカラーの八、九才用ワンピース（小池千枝）

涼しい男女児の盛夏スタイル
⑯ 大きなカラーの八、九才用ドレス（藤川延子）
⑰ 縞を効果的に使った、変りセーラーカラーのボレロとスカートの一揃い（原田茂）
⑱ 十一、二才用の通学向き（野口益栄）
—仕立方は本文に発表—
⑧ 五、六才用の袖なしブラウスとパンツ（山田禎子）
⑩ 簡単につくれる六、七才用上下（松田はる江）
⑨にちゃんちゃんこ風のボレロを着たところ
⑬ デニムの丈夫な四、五才用（近見弥生）
—実物大型紙つき—
⑩の応用スタイル 型紙つき
⑫
⑪
⑨ 三、四才用のちゃんちゃんこ風のボレロとロンパース（木崎都代子）

①
切替えをポケットにした通勤用
（大映 南田洋子さん）
②
ブラウスにスカートと共布を使った通勤用の組合せ（野口益栄）
（明美 京子さん）
カットの⑥⑦は⑤の応用スタイルで型紙つき
—実物大型紙つき（作図による仕立方も発表）—
⑤
手芸を生かした通勤や外出に向くブラウス 近見弥生
⑥
⑦
③
溌剌としたブラウスとリップルのスカート（原田茂）
（松竹 高友子さん）
④
すっきりとしたブラウスとスカート（菅谷文子）
（日高 悍さん）
—仕立方は本文に発表—
⑧
衿もとの涼やかな落ち着いた中年向きブラウス（笹原紀代）
（吉沢 京子さん）
上質の麻に変りドロンワークをした上品なスタイル（近見弥生）
（SMG 中村頼子さん）
スとスカート

実用ブラウス

⑩
オーガンジイやナイロン向きのプレーンなデザイン（諸岡美津子）
明美京子さん

⑪
細縞を素直に生かした東洋的なブラウス（小池千枝）
（FMC ヘレン ヒギンスさん）

⑫
スポーティなデザインでどなたにも向く通勤用（小笠原のぶを）
（大映 南田洋子さん）

⑬
ツーピース風の上下で通勤、外出向きスタイル（小笠原のぶを）
（FMC 西島恭子さん）

⑭
シャツブラウスと変りタイトスカートの組合せ（近見弥生）
（星 美智子さん）

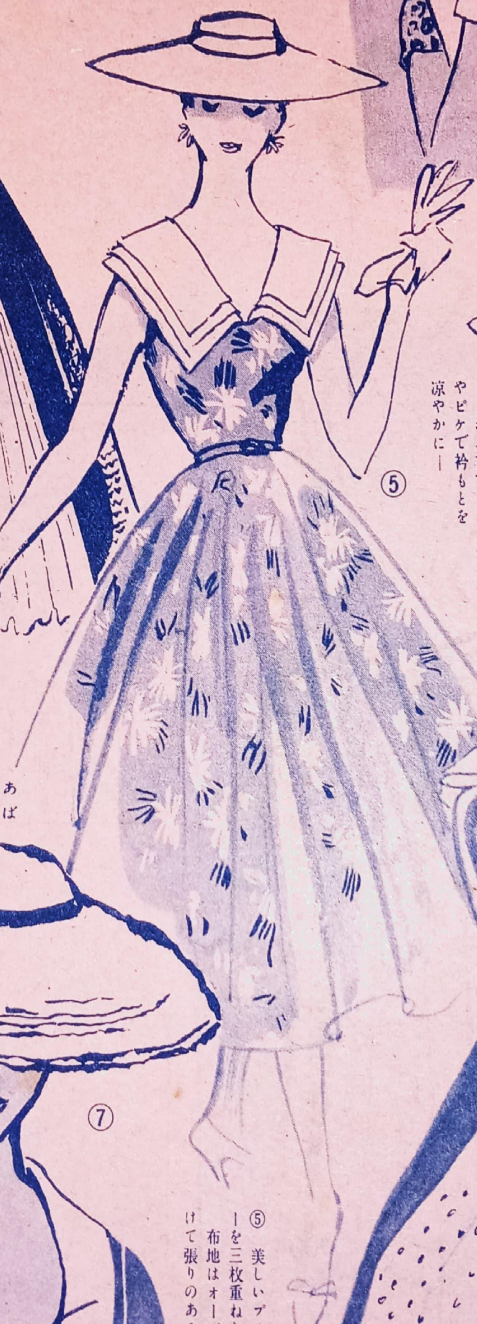
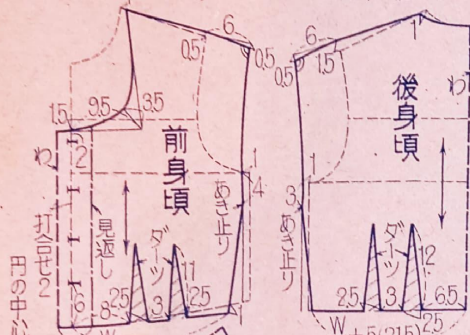
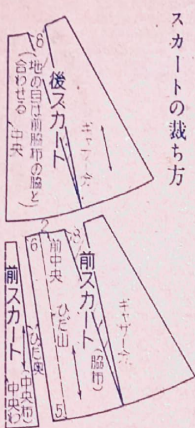
⑮
ジュニアーのよそゆきにもよい華やかな上下（池田瀬子）
—ブラウスは実物大型紙つき—（作図による仕立方も発表）
（東映 水木麗子さん）

⑱
ツーピース風のしゃれた組合せ（田辺静江）
（参考スタイル）
（大映 久我美子さん）

カットの⑯⑰は⑮の応用スタイルで型紙つき

カット 柳原操

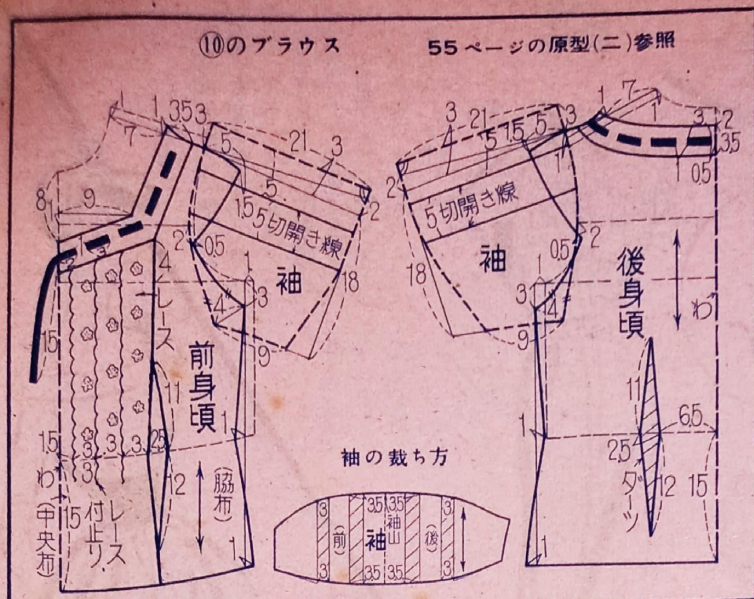
衿もとの涼しげな流行ドレス
① どなたにも向く素直なワンピース（笹原紀代）
② 直線裁ちをベルトでしめた簡単服（木崎都代子）
（小林トシ子さん）
③ スタンドオフネックのモダンな若向きドレス（小池千枝）
（中野郁子さん）
（②③は参考スタイル）
⑦の衿もと
⑦ 白ピケの衿がシックな流行のプリンセス型（藤川延子）
—仕立方は全部本文に発表—
④ 大柄模様を生かしたドレス（小笠原のぶを）
（遠山 幸子さん）
⑤ 濃色の縁とりがスマートな若向き（藤川延子）
（高 友子さん）
⑥ 前打合せのボタンと後紐が可愛い家庭着（諸岡美津子）
（星 美智子さん）
⑥のバックスタイル
（伊東 絹子さん）

夏を涼しく装う
ホワイトタッチ
夏の陽にまぶしく光るホワイトを装いに効果的に使って、清潔で涼やかな美しさを強調しましょう。ただしホワイトを使う位置や分量は、帽子から靴の先にいたるまでの装い全体のバランスや、体格・布質などから慎重にお決めになるように——
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
① シルクファイユの白と黒を使ったしゃれたカクテールドレス。ブラウスの少ない白を総のついた美しいストールで補います。
③④ 直夏の太陽のもとで若々しいホワイトカラーはお嬢様方の新鮮なシンボルです。オーガンディやピケで衿もとを涼やかに——
⑥ ライディングコート風に前をあけ、ボウでアクセントしたマダム向きのアフタヌーンドレス。
中にプリーツした白デシンを重ねてあり、コートに美しいレースなどを使えば豪華なものになります。
② 黒のサンマーコートの裏とドレスをアンサンブルにした若奥様のシックな外出着。水玉模様はコートと同色であることはいうまでもありません。
⑦ 大きくあけた小麦色の衿もとにドレープした白いカラーはお若い人から中年の方までによく魅力的なものです。
⑤ 美しいプリントに大きなカラーを三枚重ねた若向きのドレス。布地はオーガンディのような透けて張りのあるもの。
デザインとえ　隅田房子

ースとツーピース
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
（作図つき）
—デザイン—
①⑥ 細野　久
③⑭⑮ 近見弥生
⑤⑬ 野口益栄
え　隅田房子
⑦のツーピース　55ページの原型(二)参照
身頃の切替えは中表に出来あがり線より七ミリはいったところを地ぬいしてから、表から一センチ四ミリ幅のステッチをかけ、衿は見返しではさみぬいします。スカートは表と裏から交互にピンタックをつまんでぬいます。
前身頃
後身頃
見返し
ステッチ
1.4ステッチ
中央布
脇布
ダーツ
型紙をたたむ
あき止り
衿付止り
ベルト
持出し4
円の中心
半径24
衿
衿付/2 −0.5
前後スカート
裏側から深さ0.2のピンタック
表側から深さ0.2のピンタック
スカート丈ひくベルト幅
前後中央
前後脇
裾幅/4 (72.5)

盛夏のワンピ
⑭
⑬
⑫
⑪
⑨
⑩
⑯
⑮
⑯のワンピース　55ページの原型(二)参照
スカートの裁ち方
(作図つき)
前身頃
後身頃
衿のたたみ方
衿
前後スカート
後スカート
前スカート
衿は前後身頃原型の肩を突き合せにして作図し、三か所で外まわりを一センチずつたたんで用布を裁ちます。前スカートは脇布のひだ山を左右から重ねて（右が上）胴接ぎします。

おょばれやパーティの 夜の集いに

夏の宵こそ一年じゅうでもっとも大胆に、ロマンチックに装えるとき。ナイロンやオーガンディなどの夢のような美しさを生かして華やかにあるいはシャークスキンやファイユのような重みのある布質を生かしてほっそりとシックに装いましょう。

③⑧②はシックな奥様のお
れ着て、シャークスキンや
ンタンなどでつくりたいス
ルです。

ギャザーで柔らかい線を出した④⑤のワンピースは、優しいお嬢様にふさわしいスタイルです。

お若い方はブロードやレースで①⑥⑦のよ

⑩のブラウス
55ページの原型(二)参照
切開き線
袖
前身頃
後身頃
レース
レース付止り
わ(中央布)
(脇布)
ダーツ
袖の裁ち方
袖山
袖
(ブラウスは作図つき)
プレーンな組合せはレースやリボンをあしらって⑩⑬⑭のように愛らしいスタイルにしましょう。
⑨⑫⑮はお嬢様のモダンなドレスで、ふんだんに布地を使った若々しいスタイル。
—デザイン—
①④⑤⑥ 池田淑子
②⑦⑧⑪ 諸岡美津子
③ 鈴木宏子
⑨⑬ 細野久
⑩⑫⑭⑮ 近見弥生
え 柳原操

さわしいデザイン
―デザイン―
①⑨⑬⑲ 野口益栄
③⑫ 細野久
ピケ
畝織になった厚手の丈夫な布質ですから、スポーティなスタイルにふさわしく、①②⑤のようにプレーンでタイトなものに似合い、③のふだん用ブラウスから、④の外出着のツーピースにまで広い範囲に使用されます。
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
エバグレーズ
押型模様を出した張りのある布で、夏の外出着などに人気のあるものです。お若い方はギャザーやフレヤーでスカートをひろげた若々しいワンピースが、年配の方には無地でタイトなシルエットがふさわしいスタイルです。
え 柳原操

流行の布地にふ
夏の装いにはどなたもお召しになる布地で、無地ものから華やかなプリント模様などいろいろあります。単純でスポーティな⑪⑫のふだん着や、⑬⑭⑮のようによそゆきのワンピースドレスにもふさわしいでしょう。
ブロード
⑤⑳ 諸岡美津子
⑥⑭⑯ 鈴木宏子
⑦⑮⑱ 池田淑子
ギンガム
さらっとした肌ざわりのふだん着にふさわしい布地で、縞や格子を上手に生かしてデザインしましょう。⑯⑱はお若い方にふさわしく、⑰⑲⑳は中年の方まで着られ、ホームドレスに好適なスタイルです。

さわしいデザイン
―デザイン―
①⑭⑲ 諸岡美津子
③⑨⑪ 近見弥生
リップル
あわちぢみ風の感触を持った肌ざわりのよい木綿地で、アイロンの必要がありませんから、ふだん着になによりですが、①②のようなデザインなら外出着にもなります。
アセテートにナイロンを配して織られた白く細いストライプの通った布地で、さらっとしてやや張りのある感じが、外出用のワンピースや盛夏用のツーピースにピッタリします。
コードレーン
え 柳原操

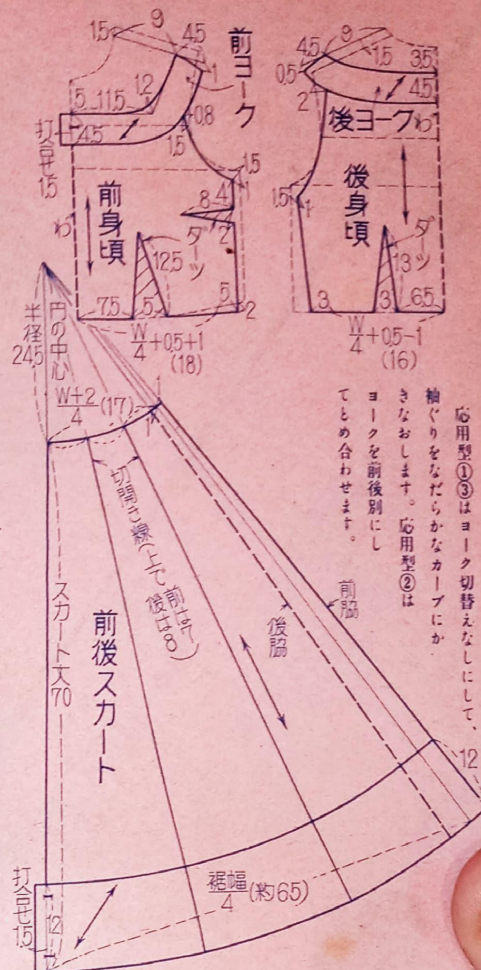
流行の布地にふ

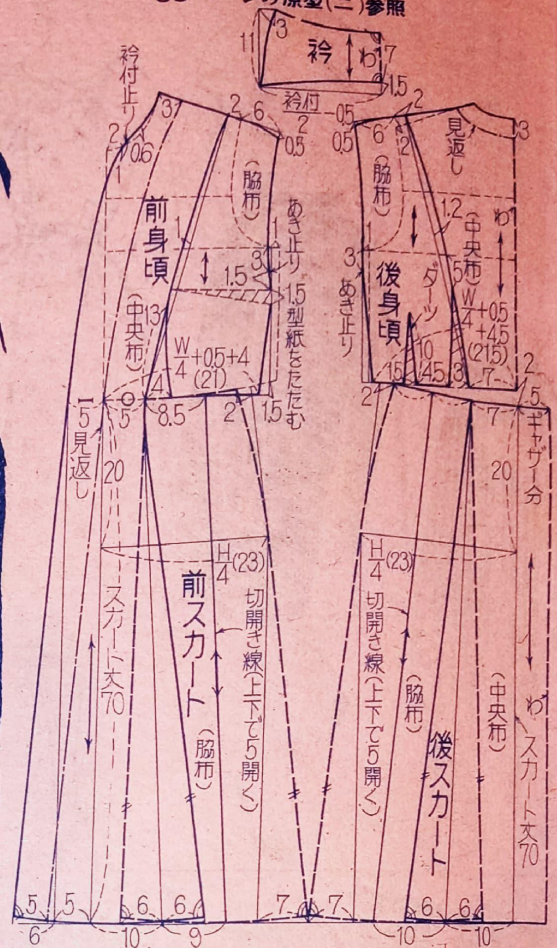
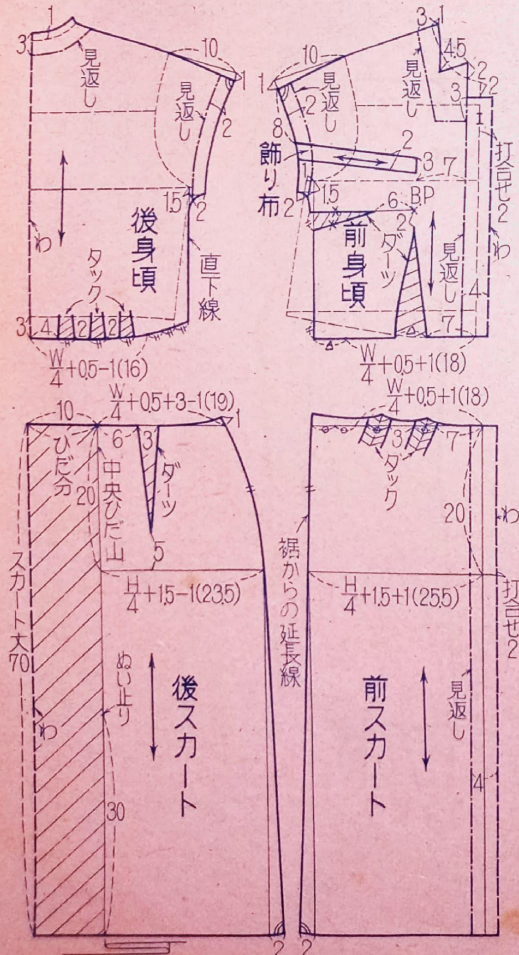
ナイロン

透明な美しさと柔らかな色調を持つナイロンは、若い人にとってなによりの魅力でしょう。ことに今年は無地・格子・水玉などが豊富な色彩で出まわっておりますから、外出からパーティなどの装いには最適です。
　たっぷりと布を使って優美に仕立てましょう。

ベンベルグ

　レーヨンですが絹同様の細かなしぼとひやりとした肌ざわりが特徴の布で、無地・プリント・縞など多彩に出まわっています。
　デザインもドレープやギャザーで生かして仕立てます。

⑤⑩⑬⑱ 池田淑子
⑮⑰ 鈴木宏子
⑳ 細野　久

ホームドレス
55ページの原型(二)参照
ロウネックのワンピース
基本型
応用型①
応用型②
応用型③
前ヨーク
後ヨーク
前身頃
後身頃
ダーツ
円の中心
半径24.5
打合せ1.5
切開き線(上で前は7 後は8)
前後スカート
スカート丈70
後脇
前脇
応用型①③はヨーク切替えなしにして、袖ぐりをなだらかなカーブにかきなおします。応用型②はヨークを前後別にしてとめ合わせます。
デザイン
スクエアネックのワンピース
基本型
応用型①
応用型②
応用型③
衿ぐりは、前後つづけて裏見返しをつけ、袖ぐりもバイヤスで裏見返しに始末します。スカートは前中央に箱ひだとそ
前身頃
後身頃
見返し
ダーツ
箱ひだ分
中央ひだ山
タック
前スカート
後スカート
スカート丈70
デザイン 菅谷文子

着やすく涼しい

デザイン 池田淑子
プリンセスラインのワンピース
応用型③
応用型②
基本型
応用型①
55ページの原型(二)参照
衿
前身頃
後身頃
前スカート
後スカート
54ページの原型(一)参照
後身頃
前身頃
飾り布
後スカート
前スカート
前立で生かしたワンピース
応用型③
応用型②
基本型
応用型①
え 石黒佐保子
デザイン 野口益栄

太って背の低い人

①ワンピース　②ツーピース　③ホームドレス　④ブラウス　⑤スカート

身頃はワンピース・ブラウスいずれの場合でもゆるみを少なめにして、適当な乳ぐせダーツをとり、ウエストはダーツをつまんできちんと合わせます。胸もとはハイネックすぎず、V字型か横にカットしたものがよく、袖丈は短かめに、袖口は広すぎないようにします。

スカートは適当な裾幅が必要ですがもしタイトなものを望む場合はアコーディオンプリーツなど成功します。色調は中間色や紺などがよく、強烈な配色より中柄や小柄のプリントの柔らかい感じのものを選ぶと無難です。

デザインと解説　桑沢洋子

①無地か小さい柄もので、スカートはバイヤス地で柔らかくタックをたたみます。
②短い上着と六枚接ぎスカートで外出や通勤用。
③ドットや花模様の小柄でつくりたいもの。胸もとで切り替え、裁ち出しのボウを結びます。

けた夏の一揃い

太って背の高い人

①ワンピース　②ツーピース　③ホームドレス　④ブラウス　⑤スカート

背の低い人と同様に、身頃のゆるみを少なめにし、ウエストはダーツできちんと合わせます。衿は身頃つづきの登り衿にしたものや、大きいウィングカラーなどおおまかな強い感じのものが似合います。

スカートはストレートなものや、またはフレヤーの多めのものもよいでしょう。色調は、白・ベージュ・紺などがよく、人によっては赤やからし色なども向くでしょう。花模様より縞やチェックの大柄もののほうが似合います。

①白や黄・ベージュの木綿の厚地で、前立を広めにし、スカートはストレートな通勤向きのもの。
②紺のシャンタンや厚地の木綿で、ボタンや衿は大きいものをつけます。外出や通勤用に。
③縞などで大まかな感じにつくりましょう。
④紺のピケやインディアンヘッドでつくります。

四つの体型に分

やせて背の低い人

このタイプの人は、太っている人と反対にゆるみを多めにとり、ウエストはたっぷりと見せるためタックをたたんで合わせ、肩を広く見せるためにドロップした袖や大きい衿、横のカットなどをおすすめします。

スカートはタイトはきゃしゃで貧弱に見えますから、フレヤーを入れたソフトプリーツやフレヤープリーツなどがよく、ウエストは高めにして細くしめます。色調は、各々のタイプにもよりますが、強すぎなければどんな色でも似合います。柄ものもあまり大きくないものでしたらよいでしょう。

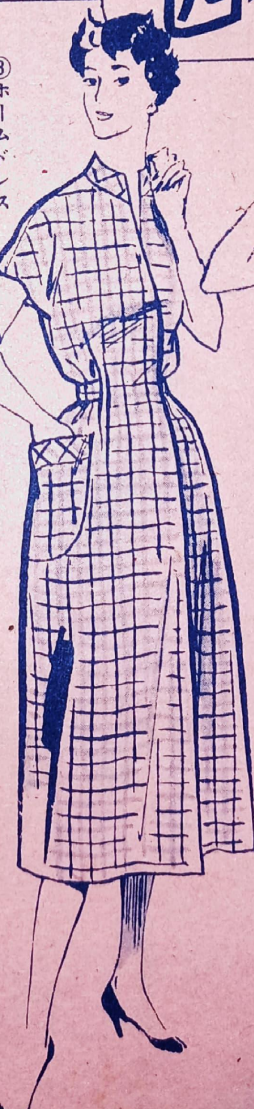
①ハイウエストのワンピースで、ヒップの切替えはスカートの分量とその人の感じで決めます。
②厚地木綿の短いスポーティなジャケットと、ソフトプリーツのスカートで、通勤用。
③プリントで、サッシュをしめた若々しいドレス。
④縞のブラウスにスカートはプレーンな無地もの
⑤四、五センチ幅のプリーツのスカートは、このタイプに似合う一つ。

やせて背の高い人

このタイプの人は、比較的どんなシルエットのものでも着こなすことができますが、いちばん避けなければならないことは、濃色で体にぴったりしたデザインのものを着ることです。

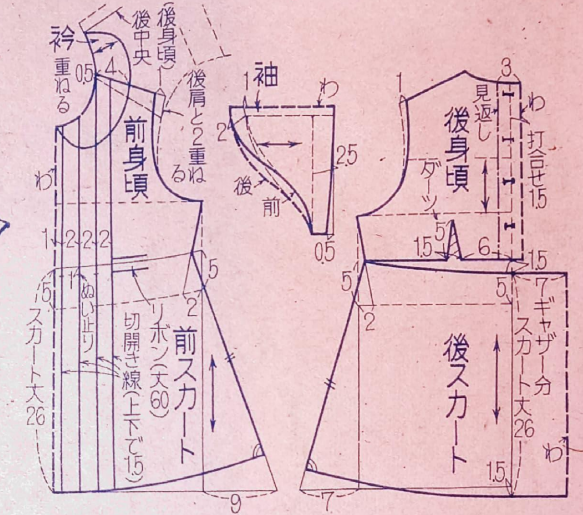
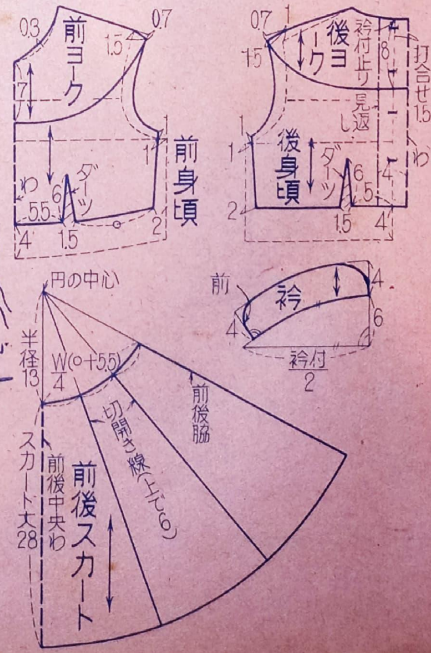
色調は、人によって異なりますが、たいていの色や柄ものもよく、かなり強い色のものでも似合います。

スカートは、相当に細いスカートでもよいでしょう。

しかし、身頃はどこまでもゆったりさせ、肩幅も広めに袖丈や袖口もゆるやかにすることが大切です。

え　隅田房子

①身頃をゆったり見せるため胸もとの切替えを浮かせ、衿はウィング風にしたスポーティな通勤着。
②上下はっきりした色で分けて、上着をやや長めにしてもよい、外出・通勤用のスタイル。
③立衿で打合せ式のおおまかなデザイン。
④ミディ風のものでスカートはタイトかプリーツ
⑤大きなポケットをつけたスポーティなもの。

二三才と五六才の可愛い女児ドレス
2・3才用のスクェアカラーのドレス
55ページの原型(二)参照
スカートは前後同形に裁ちます。前後衿ぐりの見返しをつけてから、肩の始末をします。
持出し
見返し
前身頃
後身頃
ギャザー分
前後スカート
スカート丈24
前後中央わ
基本型
応用型①
応用型②
応用型③
デザイン 稲峯ひろみ
①はピンタックで②はスカラ、③は蝶結びで飾りました
5・6才用のヘルタードレス
55ページの原型(二)参照
つり紐は前後つづけて裁ち、前端にボタンをつけてとめ合わせますが、片方はぬいつけておいてもよいでしょう。
①はパイピングで生かし、③はスカートをバイヤス地にしました
つり紐
ダーツ
前身頃
後身頃
打合せ
ギャザー分
ポケット
前スカート
後スカート
スカート丈32
デザイン 池田淑子
5・6才用のブラウスとスカート
ブラウスの袖ぐりはバイヤスで裏見返しに始末し、打合せはスナップ止めにします。
スカートは左脇にあきをつけます。
衿付止り
打合せ
見返し
前身頃
後身頃
ベルト
衿
前後中央わ
スカート丈30
前後スカート
持出し
デザイン 菅谷文子
①③のようにレースやリボンをトリミングしても可愛いものです。

3・4才用のよそゆきドレス
袖は袖口側を布の耳で、衿はバイヤスで表裏4枚を裁ちます。
基本型
応用型①
応用型②
応用型③
デザイン 木崎都代子
少ない布でも②のように変化がつきます。
衿
袖
付側
前ヨーク
後ヨーク
前身頃
後身頃
切開き線(上で3)
あき止り
3・4才用のタックのドレス
55ページの原型(二)参照
前身頃は図の位置でタック分を上下で1センチ5ミリ切り開き、裏側からぬい止りまでをつまみぬいします。
衿なしは、①③のようにボウや玉縁で衿もとを引き立てましょう。
デザイン 池田淑子
衿重ねる
後中央
(後身頃)
後肩と2重ねる
見返し
ダーツ
打合せ1.5
ギャザー分
スカート大26
前スカート
後スカート
リボン(大60)
切開き線(上下で1.5)
ぬい止り
4・5才用のフリル飾りのドレス
55ページの原型(二)参照
フリルの丈は付寸法の一倍半くらい用意します。共布のフリルの場合は、外側は布の耳を使うか、裁ち端なら細くよりぐけします。
よそゆき着にふさわしく①はウエストにもフリルをはさみづけてあります。
デザイン 近見弥生
え 隅田房子
衿付止り
円の中心
半径13
前後脇
切開き線(上で6)
前後中央わ
前後スカート
スカート大28
衿付/2

幼児の遊び着
①②⑤⑥はちょっとした外出用にもなるもので⑤のアップリケは布の周囲をじゃばらで押え、車の軸に貝ボタンをつけます。
⑤のアップリケ
①
②
⑥
⑤
④
④の応用デザイン
③
③④はいちばん涼しいロンパースで、④のように胸当布を動物の顔に工夫するのは楽しいものです。切替えを利用してポケットにしてもよいでしょう。
⑩
(作図つき)
⑨
(作図つき)
⑨の応用デザイン
⑧
⑦
★寸法は全部1・2才用
⑨のボレロつきロンパース
ロンパースは、パンツのウエスト見返しを別に裁って胸当をはさみづけ、胸当位置を除いてゴムテープを通します。
胸当
後身頃
前身頃
あき止り
つり紐
前後パンツ
後股上
前股上
④のロンパース
つり紐
胸当布
前後パンツ
着丈たす7(45)
前後中央わ
後
前
原型(二)参照
⑨はボレロつきのロンパースで、縁布は表見返しに始末します。パンツの股下はボタンがけにしてもよいでしょう。

簡単にぬえる

—デザイン—
①③⑨ 木崎都代子
②④⑦⑧ 稲叢ひろみ
⑤⑥⑩⑪⑫ 笹原 紀代

⑪⑫は縞を生かしたおませなドレス。⑬はズボンだけでロンパース代りにもなります。⑭〜⑯は端布でできるロンパース。

⑱の応用デザイン

⑰はパンツをブラウスにボタン止めにした上下⑱は男児用にもよいパンツつきワンピース。⑲⑳は直線裁ちでできます

(作図つき)

—デザイン—
⑬⑭ 小笠原のぶを
⑮⑯⑲⑳ 竹内菊代
⑰⑱ 菅谷文子

え 柳原 操

ース・ブラウスとスカート
基本型
応用型①
①は細かいレース地をスカラ型に切り替えた涼しげな外出向き。
応用型②
応用型③
基本型と③はシンプルで愛らしいふだん着向き。②はさかなをアップリケした楽しいもの
—デザイン—
稲葉　ひろみ
③の裾の刺繍
応用型②
応用型①
基本型
応用型③
基本型は前あきのプレーンなデザインです。
—デザイン—
笹原紀代
七、八才用の盛夏向きデザイン
55ページの原型(二)参照
要尺はヤール幅で一ヤード七分
前身頃
ポケット
見返し
後身頃
打合せ
ダーツ
結び紐
前後スカート
後あき
スカート丈33
前後中央わ
衿
伸ばす
重ねる
後身頃
前身頃
脇
56ページの原型(三)参照
十才前後の着やすいワンピース
要尺はヤール幅で二ヤード四分。基本型と③の前端の見返しは、身頃につづけて裁ち出しますが、①②の場合は衿ぐりにつづけて別に裁ちます。
後身頃
前身頃
見返し
タック
前端わ
打合せ
ベルト
W/2たす12
ポケット
前後スカート
スカート丈43
後中央わ
脇

5・6才から10才前後のワンピ

①はポケットとヨークに白布を配して、細いグログランリボンを二本つけたすっきりした遊び着です。リボンは色の出ないものを—。

基本型

応用型①

応用型②

応用型③

②は配色糸でハンドステッチした気のきいたデザイン。③は濃色のリボンをとばしたロマンチックなもの。

—デザイン— 笹原 紀代

56ページの原型(三)参照

丸ヨークの五、六才用ワンピース

要尺はヤール幅で一ﾔｰﾙ四分。身頃は前後ダーツと両脇をぬい、袖ぐりをバイヤス布で始末し、肩を接いだヨークを中表にのせて身頃側からバイヤス布をのせ、ヨーク周囲をぬいながら身頃をはさみづけるようにします。ポケットは二ｾﾝﾁ五ﾐﾘの浮かせ分を切り開いて裁ちます。

基本型スカートの刺繍

応用型①

①②は愛らしいプリントや淡色無地でつくりたい通学向きの上下。

応用型②

基本型

基本型は胸当とポケット周囲をブレードと刺繍で飾った手芸的なもの。

応用型③

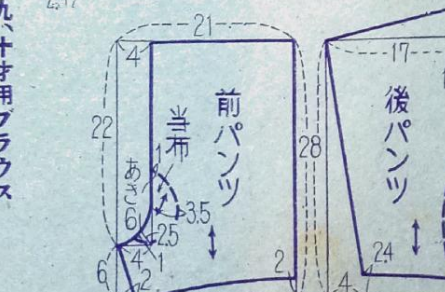
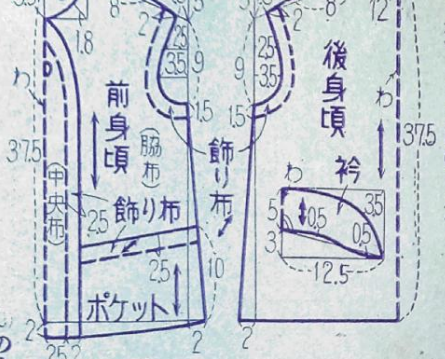
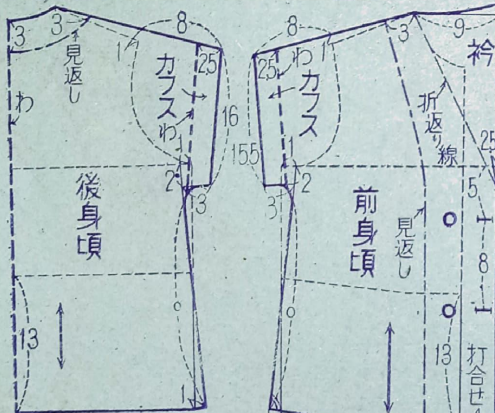
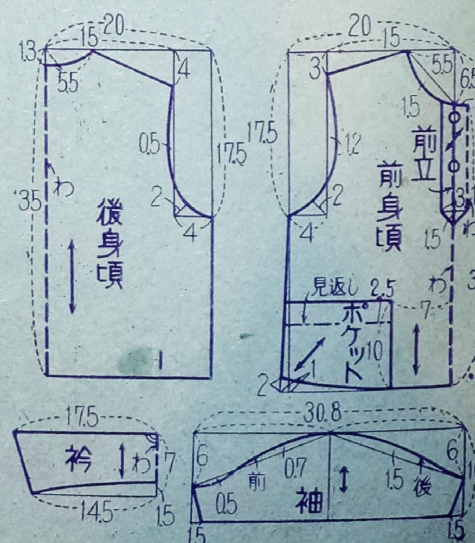
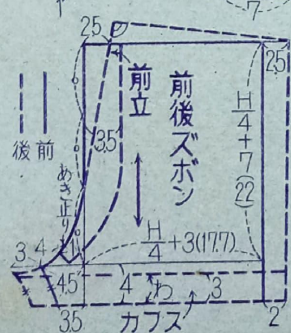
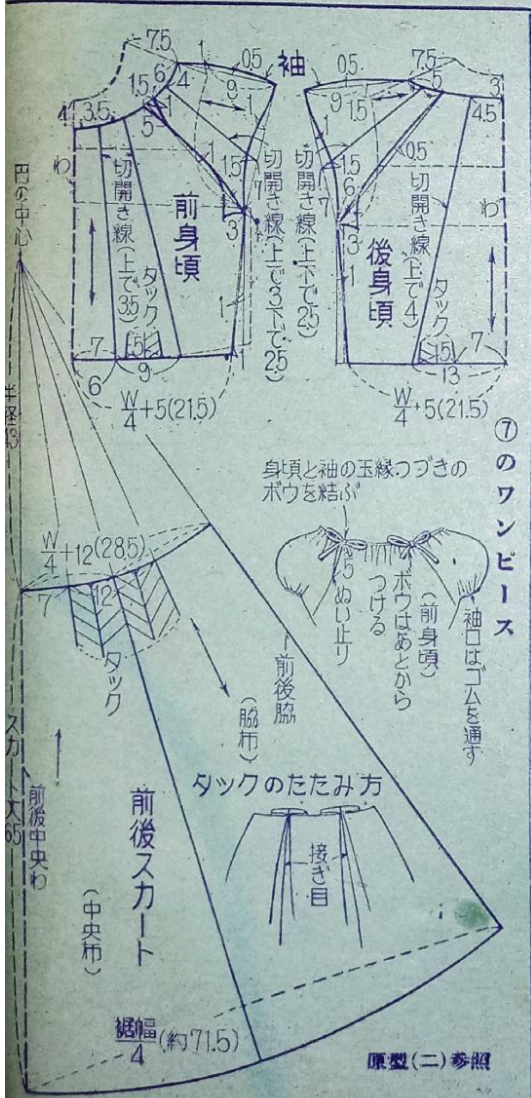
③のブラウスの刺繍

—デザイン— 木崎 都代子

え 原 雅夫

通学向きの八、九才用上下

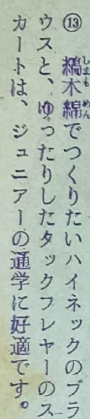
要尺はシングル幅でブラウスは一ﾔｰﾙ三分、スカートは一ﾔｰﾙ五分。原型を使わずに胸囲六十五ｾﾝﾁ、袖丈十二ｾﾝﾁ五ﾐﾘ、スカート丈三十四ｾﾝﾁにして作図してあります。③のヨークには刺繍の代りに貝ボタンを並べてみました。

元気な男児のふだん着とよそゆき
① 四、五才用のいたずら着。
② ウエストをしめた五、六才用。
③ デニムかピケでつくりたい2・3才用いたずら着。
④⑤ ボタンにポイントをおいた二、三才と四、五才用のしゃれたよそゆき。
⑥ 二、三才用のあどけないスタイルで、ブルマースつきにすればお嬢ちゃんにも似合います。
（作図つき）
⑦ すっきりした縞の5・6才用
⑧ シャツ衿の八、九才用ブラウスとズボン。
⑨ 九、十才用の派手な格子のブラウスと白麻ズボンの組合せ
（⑨のブラウスは作図つき）
え 原 雅夫
要尺はシングル幅で1ヤール5分。
ヨークは前後の肩をつづけて裁つ
後ヨーク
前ヨーク
衿
後身頃
前身頃
ポケット
切開き線（上で4）
たたむ
見返し
打合せ
ギャザー分
カフス
袖
袖丈は十六センチ
⑨の九、十才用ブラウス
原型(三)参照
⑥の中央布は、周囲を飾り布で表見返しに始末しますが、右身頃側はきわミシンで脇布にぬいつけ、左脇布の中央側には持出しをつけます。
前身頃
(脇布)
中央布
飾り布
ポケット
後身頃
衿
⑥の二、三才用の上下
要尺はシングル幅で上着は一ヤール、（配色布はパンツの余り布）パンツは〇・八ヤール。
前パンツ
当布
あき
後パンツ

―デザイン―
① 竹内 菊代
②③ 水野 正夫
④⑤⑩ 稲峯ひろみ
―デザイン―
⑥~⑧ 菅谷 文子
⑪⑫⑯ 木崎都代子
⑭ 小笠原のぶを
⑨⑬⑮⑰~⑲ 笹原 紀代
⑪⑩ 五、六才用ブラウス デニムの六、七才用
⑫⑬ アップリケをした2・3才と4・5才のお揃い着。
⑭ ステッチで生かした十才前後用
⑯ どんな布柄にも合う八、九才のしゃれたシャツとパンツ
⑰ 四、五才用のブラウスとつりズボン
⑱ 六、七才用の着やすいブラウス
⑲ 衿とカフスに別布をきかせた五、六才用
(作図つき)
⑮ 衿なしのモダンな七、八才用ブラウス
(⑯のシャツは作図つき)
⑲の五、六才用ブラウスとズボン
要尺はシングル幅で上着は一ヤール。見返しとカフスの別布少々。ズボンは〇・八ヤール。
56ページの原型㊂参照
裏衿は、身頃につづけて裁ち出し、表衿は、別布で見返しつづきに裁ちます。
後身頃
前身頃
見返し
カフス
衿
折返り線
打合せ
前立
前後ズボン
あき止り
後
前
⑯の八、九才用シャツ
ポケット口は縦地の見返しをつけて、脇を残してステッチでつけ、脇側は前後身頃にはさみづけます。
要尺はシングル幅で1ヤール3分
後身頃
前立
前身頃
打合せ
見返し
ポケット
衿
袖

とジュニアーに
⑤ 無地を生かしたプレーンなデザイン。配色のよい服飾テープやレースをあしらいます。
④ やや張りのあるプリント地でつくりたいロマンチックな女学生の外出向きスタイル。
⑧ 白または配色布を大胆に切り替えた知的なデザインです。胸のギャザーはあまり多くしないように。
(十四、五才用)
(作図つき)
⑦ 十代のお嬢様にふさわしいはつらつとした盛夏向きのデザイン。スカートは両側にタックをとった目新しい感じのゴアードスカートです。中柄プリントなどに向きましょう。
袖
前身頃
切開き線(上で3.5)
タック
切開き線(上で3下で2.5)
切開き線(上で4)
後身頃
W/4+5(21.5)
円の中心
半径43
⑦のワンピース
身頃と袖の玉縁つづきのボウを結ぶ
袖口はゴムを通す
(前身頃)
ボウはあとからつける
ぬい止り
W/4+12(28.5)
タック
前後脇
(脇布)
タックのたたみ方
接ぎ目
前後スカート
(中央布)
前後中央わ
スカート丈65
裾幅/4(約71.5)
原型(二)参照

夏休みの女学生

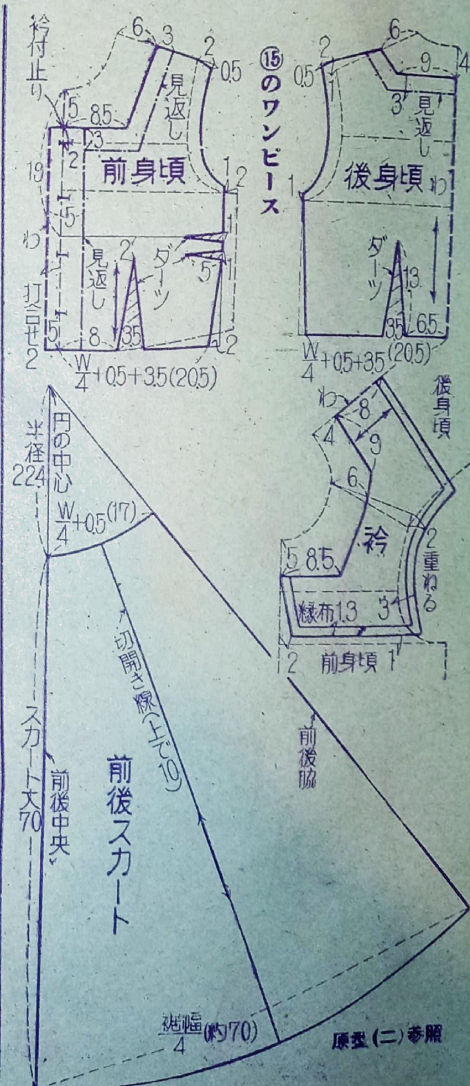
—デザイン—
①②⑨　菅谷　文子
③⑦⑩⑮　池田　淑子
④⑯　稲峯ひろみ
⑤⑥⑪⑫⑬　依田　富子
⑧⑭　近見　彌生

え　石黒　佐保子

⑬ 縞木綿(しまもめん)でつくりたいハイネックのブラウスと、ゆったりしたタックフレヤーのスカートは、ジュニアーの通学に好適です。

⑯ 衿とカフスに濃色を用いた個性的なワンピースで、衿もとの感じをポケットにもくり返しました。

⑮ 衿ぐりを大きくくり、白を効果的に使った健康的なワンピースです。ギンガムやブロードなどの多色格子で。

(作図つき)

原型(二)参照

盛夏のホームドレスには裁ち合せが経済で、見た目にも仲よく楽しそうなお揃い着をおすすめします。可愛らしいプリントものは姉妹お揃いに、縞や格子はそれぞれ面白味を生かして新鮮な感じに、無地にはレースや配色布をあしらって涼しげに、またすっきりしたゆかた地を使うのも気がきいていましょう。布地はお洗たくのきく丈夫な木綿ものをお選びください。

① おかあさまと四、五才用男児のお揃い着で、細かなチェックを前立とヨークで引きたてた健康的なスタイルです。プレーンなデザインはお背を高く見せるのに効果的です。

② きもの風に打ち合わせた着やすいホームドレスでおかあさまのドレスは流行のハイウエスト。

③ 縞柄をすっきり使ったおとうさまと七、八才のお揃い着。上着丈を短かめにした軽快なスタイルです。

④ 落ち着いた無地のデザインで、切替えにパイピングをあしらったおかあさまとのお揃い着。

⑤ 涼しげなハウスドレスと2・3才のいたずら着。

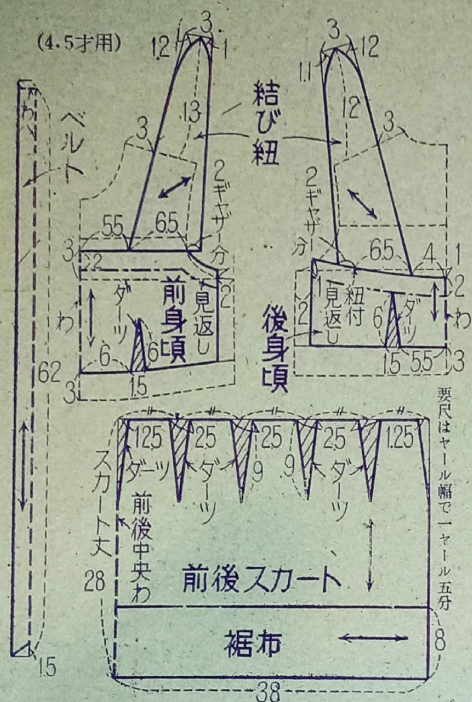
⑥ ジュニアーと九、十才用のお揃い着。プリンセスラインにしたおませな外出向きのスタイルです。張りのある麻やブロードなどで。

楽しいお揃い着集

①⑤ 池田淑子
②③ 小笠原のぶを
④⑨ 近見彌生
⑥⑧ 依田富子
⑦ 笹原紀代
—デザイン—

⑦ 活動的な姉弟のお揃い着でデニムにピエロをアップリケしたモダンな組合せ。

⑧ ゆかた地でつくっても可愛い姉妹服です。

⑨ ギンガムや無地ピケでつくりたいお揃いのヘルタードレス。

婦人・子供とも結び紐はバイヤス地で裁ち、ギャザーを寄せてから身頃に中表に合わせ、見返し布ではさみづけます。子供のスカートはウエストダーツをぬってからギャザーを寄せます。また婦人の身頃は、前スカートとつづけて縦地にお裁ちください。

え 柳原操

ヤール幅二ヤールでできるワンピース

基本型の作図と裁ち方

下前身頃は見返しを裁ち出し、前立は三㌢幅にして打合せ側をわに裁ちます。裾の線は前後とも丸く裁ち落します。

デザイン 野口益栄

基本型

衿もとを低く打ち合わせたシックなマダムスタイルです。基本型と同じ型紙で①～③のように、また少しデザインを変えますと④～⑦のようにも変化します。

裏前立は別布でお裁ちください。

① 細かい縞柄を上手に裁ち合わせました。やや、やせぎすの方に。

② グログランリボンかチュールのボウを胸もとに飾った外出用。

③ ラグラン線を利用してポケットをつくります。お背の高い方に向くデザイン。

基本型

デザイン　近見　彌生

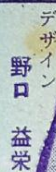
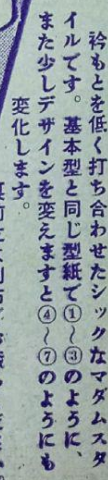
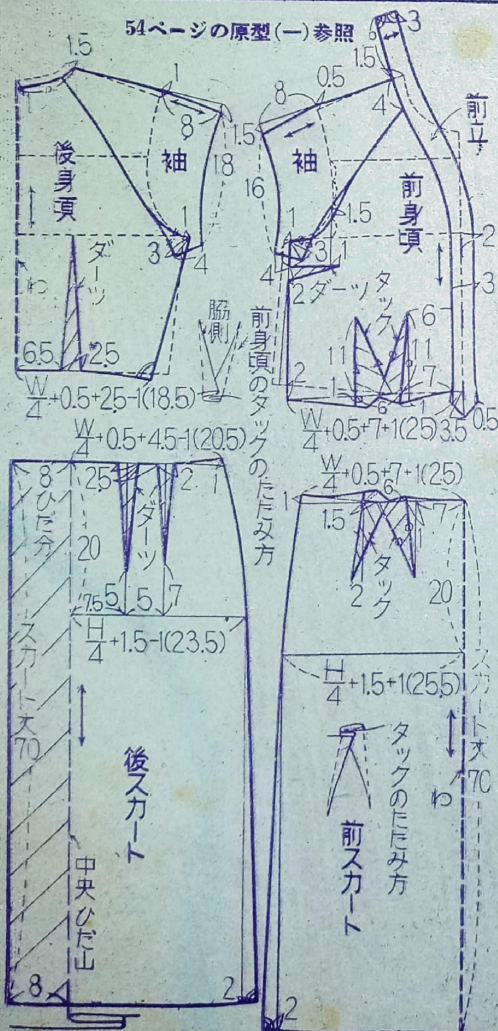
① 胸幅線で切り替えてポケットをつくり、幅広のステッチをきかせたスポーティなドレス。

② パッチリとした格子柄に、白いカラーを配した一般向き。

③ 油絵風のプリントの一色を前立と衿に用いた個性的なデザインです。

え　石黒　佐保子

前身頃のドロンワークが若々しいワンピース。基本型の型紙で、①〜③のような応用デザインにも、また少し型紙をかえれば④〜⑦にも応用できます。

基本型の作図と裁ち方

シングル幅三ヤールでできるワンピース
①〜③は基本型と同じ型紙で出来るデザイン
①は無地布で白カラーつき。
②は落ち着いた格子柄で。
③はカラーレスのさっぱりした家庭着です。
④〜⑥は基本型紙を応用して出来るデザイン
⑤はカラーを裁ち出しに、⑥は衿なしのハイネックです。
—デザイン— 池田 淑子
基本型。
無地や格子柄にも向くいや味のないワンピースです。
① カラーに濃色の無地をあしらったスポーティなスタイル
② 小さなプリント柄は前立はつけずに柔らかな感じに仕立てます。
①〜③は基本型と同じ型紙で出来るデザイン。
③ 落ち着いた無地のワンピース。ベルトでアクセントをつけましょう。
—デザイン— 小笠原 のぶを
え 石黒佐保子

基本型

前身頃の切替えにギャザーを入れ、裾まで打合せをあけたご年配の方にもよいワンピース。

基本型の作図と裁ち方

胸囲寸法を前後とも同寸にし、後身頃は衿ぐりを八ミリ上げてハイネックにします。

前は胸の切込み位置を肩から十センチ五ミリ、衿中央から一センチ下げて八ミリ入れた点を図のように結びます。つぎにウエストから十センチ五ミリはいってまっすぐに切開き線をしるし、それぞれ切込みを入れ、上端は五センチ開きます。なお前スカートも切り開きます。(裁ち方図参照)

④⑤は基本型紙を応用して出来るデザイン

④ スタンドカラーの若向きスタイル。カラーは出来あがり幅三センチぐらいの直線裁ちにします。

⑤ モダンなプリント柄でしたら、このように衿先を劒形にして、ラフな感じに仕立てても面白いもの。

基本型の作図と裁ち方

後袖ぐり下を一センチ出し、前は一センチ入れて胸囲寸法を同じにします。衿は衿下から十一センチ下げた打合せ端をあき止りにして折返り線を引き、図のように外まわりをかきます。スカートは切り開いてウエストのギャザー分を出します。

ヤール幅1ヤールでできるブラウス

基本型

①カラーに切込みを入れると変った感じになります

③濃色無地のモダンなブラウスで、ボタンはダブルに。

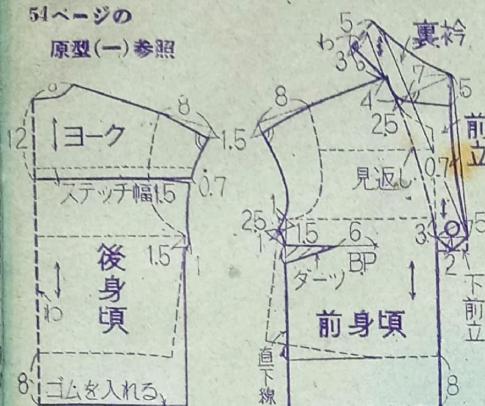
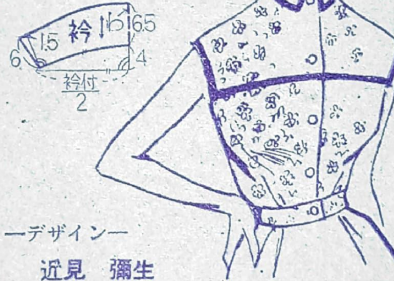
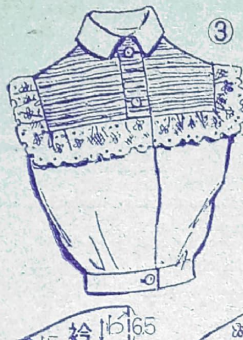
①〜③は応用デザイン

—デザイン— 野口　益栄

基本型の作図と裁ち方

前身頃は胸囲線から三糎下を前立止りにして、図のように表衿つづきに前立をかき、裏衿の付側を引きます。

54ページの原型(一)参照

基本型

①〜③は応用デザイン

①ヨークを横縞にして前立をつけます

②プリントの中の一色でヨークと衿まわりにパイピングをした若向きスタイル

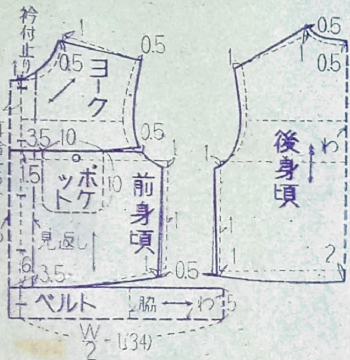
—デザイン— 近見　彌生

基本型の作図と裁ち方

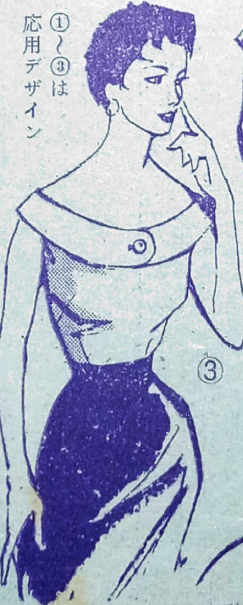
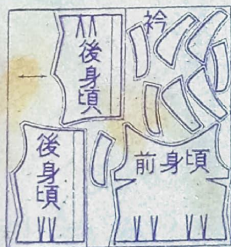
ネックポイントを一糎前身頃は削り、後は出して肩線を引き、前は胸囲線から一糎五ミリ上で切り替えます。

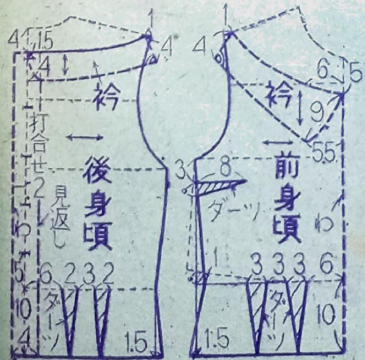
55ページの原型(二)参照

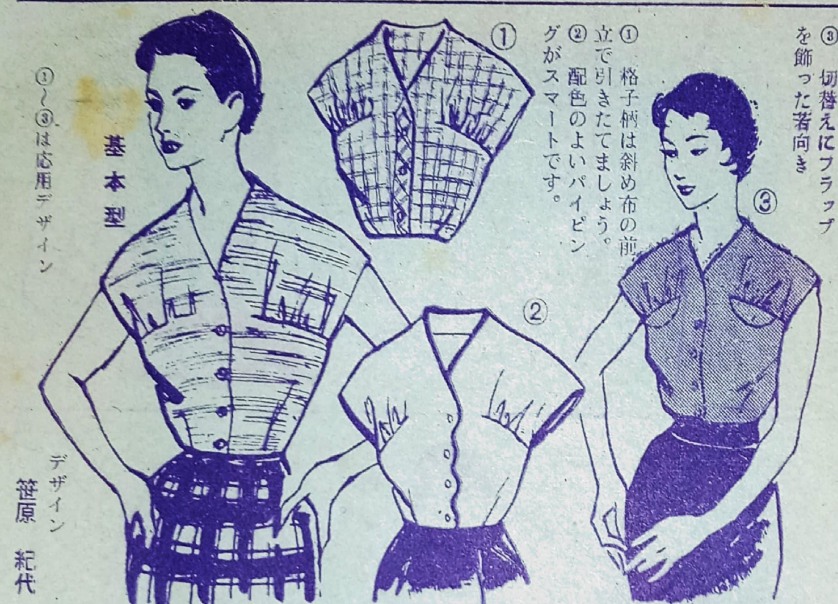
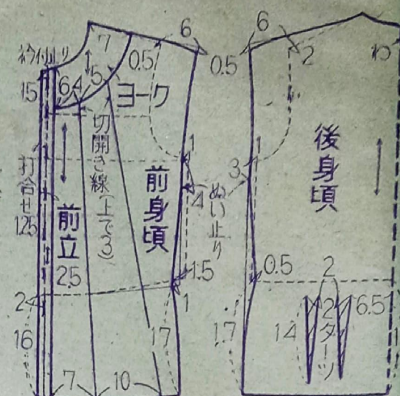
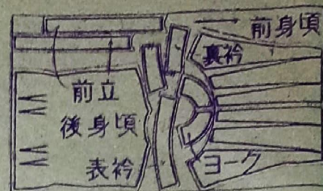
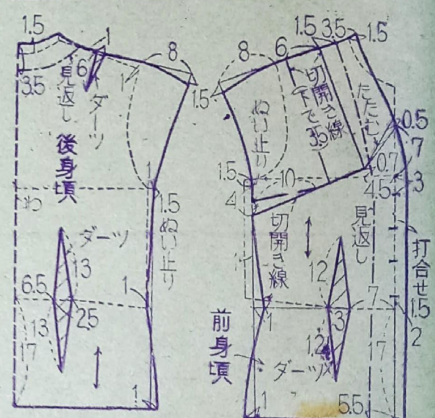
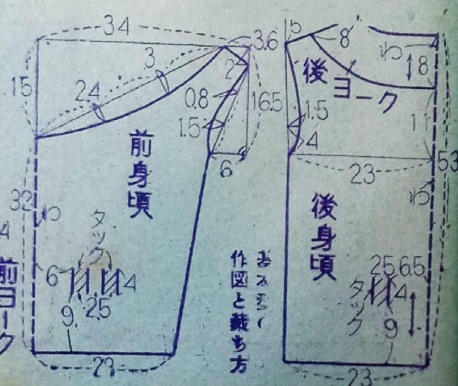
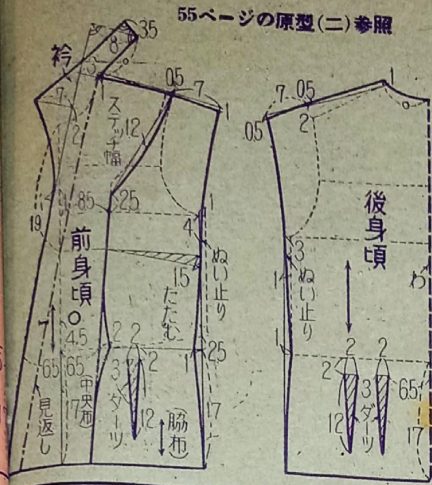
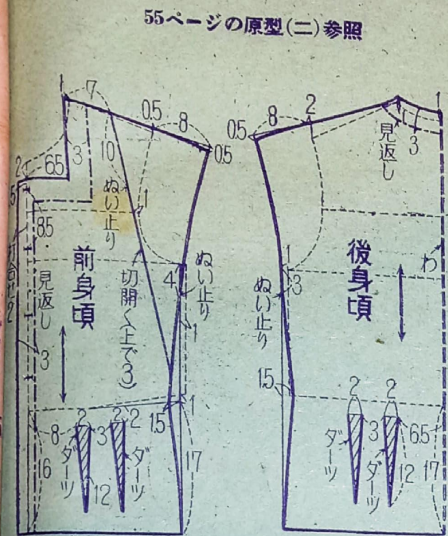
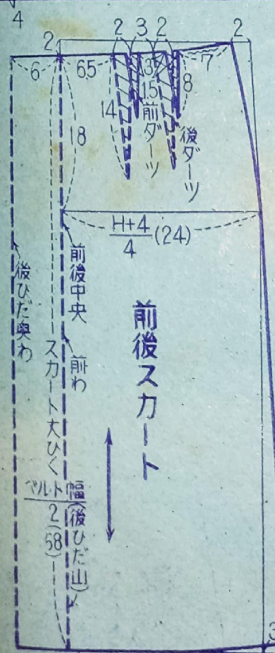
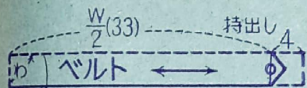
基本型

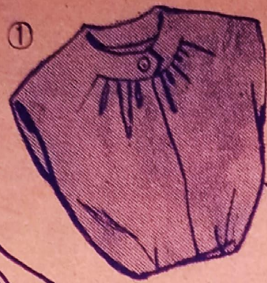
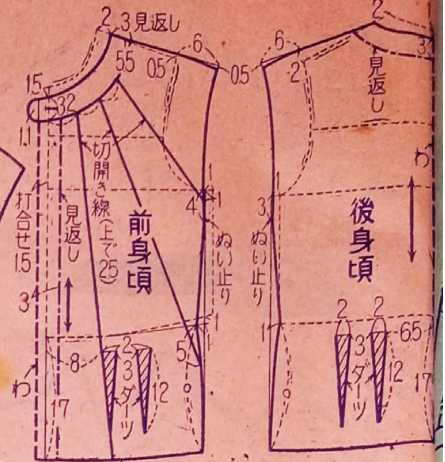
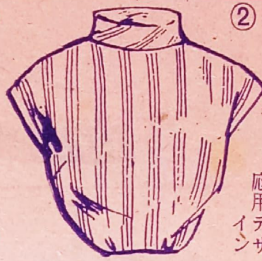
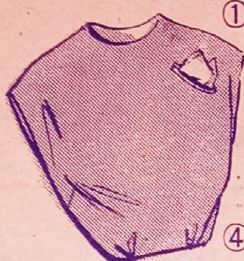
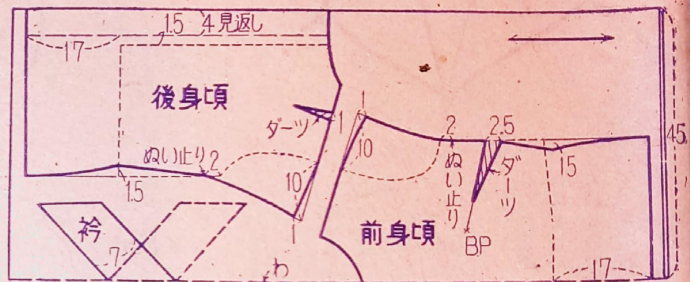
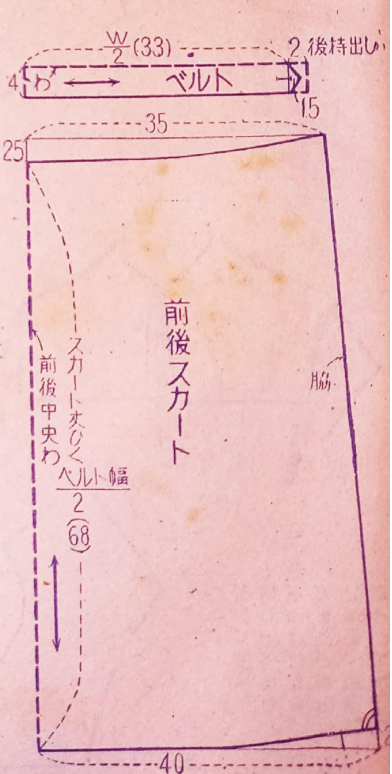
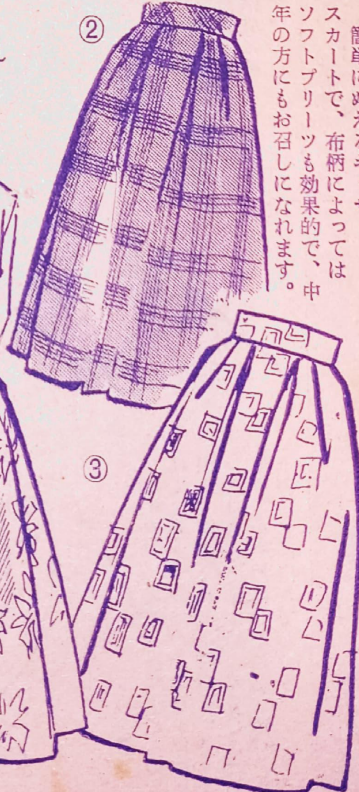
①〜③は応用デザイン

②白のカラーは中央を自然に結んで作図します。

③前衿幅も後と同じにします。厚手の無地布で。

—デザイン— 田辺　静江

基本型の作図と裁ち方

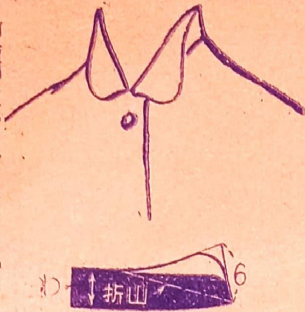
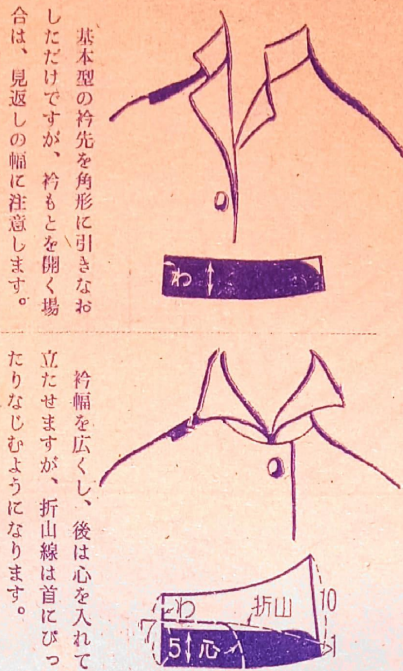
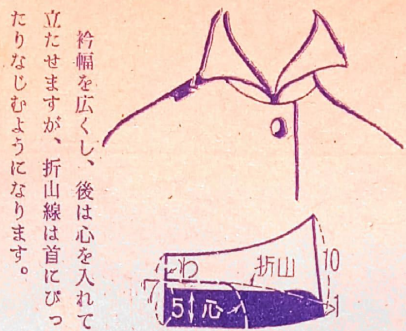
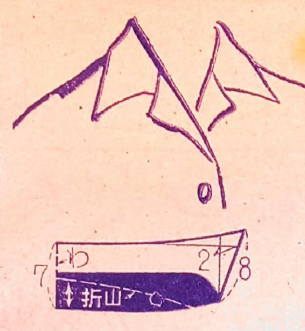
衿ぐり中央から後は四糎、前は五糎下げて肩先から一糎内側とそれぞれ結んで衿ぐりをかきます。

54ページの原型(一)参照

シングル幅1.5ヤールでできるブラウス

ウスとスカート

ウスとスカート
55ページの原型(二)参照
①〜③は応用デザイン
ーデザインー 池田 淑子
基本型
衿
ステッチ幅
前身頃
後身頃
ぬい止り
たたむ
見返し
中央布
ダーツ
脇布
①②を裁つときは地の目にご注意ください。
前脇布のたたみ方
55ページの原型(二)参照
①〜③は応用デザイン
ーデザインー 池田 淑子
基本型
切開く(上で3)
前身頃の切開き方
①〜③は応用デザイン
持出し
ベルト
前ダーツ
後ダーツ
前後中央
後ひだ奥わ
前わ
スカート丈ひく
ベルト幅(後ひだ山)
前後スカート
ーデザインー 池田 淑子
基本型
③ 千鳥格子で、ヒップポケットをつけた若向きスカート。
② 前中央にボックスプリーツをたたんだスカート。
はき工合のよい裾幅をもったタイトスカート。黒・紺・グレーなどの基本色でつくります。
① 前に片ひだを入れてステッチしたスポーティなブラウスに合うデザイン。トロピカル・ポーラー・麻などで。

簡単にぬえるブラ
55ページの原型(二)参照
①〜④は応用デザイン
基本型
ーデザインー
池田 淑子
前身頃の切開き方
見返し
切開き線
打合せ
前身頃
後身頃
ぬい止り
ダーツ
このようなプレーンなデザインは原型をそのまま布地に当てて、袖丈と着丈をしるしますと、手早くお裁ちになれます。
56ページの原型(三)参照
ーデザインー
笠原 紀代
基本型
①〜④は応用デザイン
衿
BP
基本型
簡単にぬえるギャザースカートで、布柄によってはソフトプリーツも効果的で、中年の方にもお召しになれます。
後持出し
ベルト
前後スカート
スカートおびく
前後中央わ
脇
え 原 雅夫
①〜③は応用デザイン
ーデザインー 池田 淑子

と変化のいろいろ

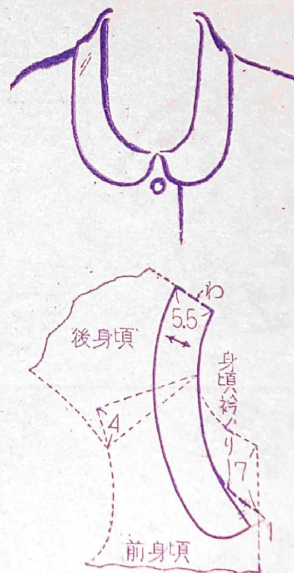
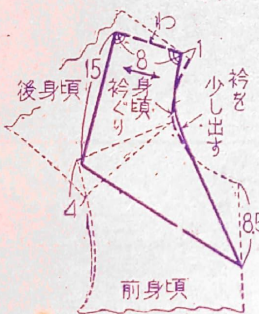
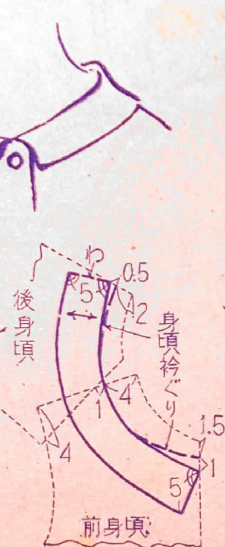
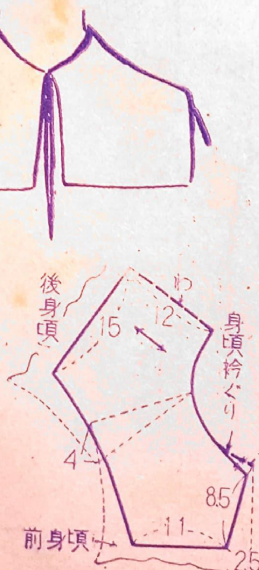
スタンドカラー

基本型

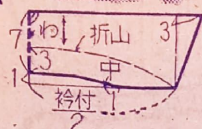
基本型の衿先を角形に引きなおしただけですが、衿もとを開く場合は、見返しの幅に注意します。

前衿幅を広くしてかどに丸みをつけ、前衿だけ折り返します。外まわりのきせのかけ方に注意してください。

衿幅を広くし、後は心を入れて立たせますが、折山線は首にぴったりなじむようになります。

図のように作図しますとシャツ衿になります。この場合、前身頃衿ぐりを衿の付側に合わせて浅く引きなおします。

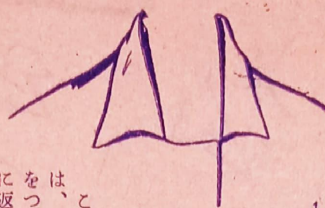
フラットカラー

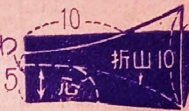
基本型

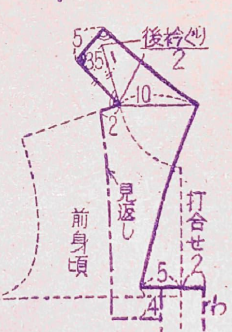
フラットカラーは衿腰のない、身頃に添った衿で、前後原型の肩を突き合わせて作図するのが原則ですが、重ね方の操作や外まわり線の描き方によって、いろいろの表情を持ちます。この基本型は身頃にほどよく添った形のよいものです。

この衿型はデザインは違いますが、基本型とまったく同じ引き方です。布を裁つ場合は、前衿の部分がバイヤス地になりますから、伸びぬよう注意し、裏衿は中央に接ぎ目を入れてバイヤス裁ちにすれば美しくなじみます。

これはセーラーカラーでもやや首になじんで少し登った感じの形よいものです。付側線の肩の位置で、身頃衿ぐりより少し出してカーブします。

基本型と異なり、身頃衿ぐりがかくれておりますので、その線を原型に引き、図のように作図します。つけるときには肩の部分では衿のほうをやや伸ばしかげんにつけたほうが感じが出るでしょう。

付側は基本型とまったく同じで外まわり線に変化をつけたもの。夏ものの場合は、裏をつけずに一枚裁ちのほうが軽やかです。

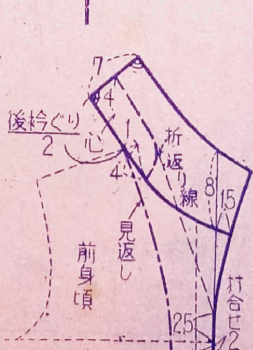
流行の衿の基本型

シャツカラー

このような衿は、折山の折りをつけずに自然に返したほうが美しく、前中央の一糎は浮き分にします

折山線は前中央で一糎上がった点と結びます。えのような感じに立たせるには、表裏の衿で身頃にはさみづけます。

衿もとをとじても着られるスタイルで、前身頃の衿ぐりを浅くしてゆるいカーブになおします。裏衿は、バイヤス裁ちにします。

基本型よりも衿先で三糎入れて付側と結び、衿幅を広くして後を立たせます。心はバイヤス裁ちにしたほうがきれいになじみましょう。

裁ち出し衿

衿の倒し方は基本型と同じですが、外まわり線の変化によりこのようにもなります。後中央と付側はバイヤスになりますから伸びぬよう注意します。

他の衿と違って、倒しを全然つけずに引きますと、このようにハイネックの感じになります。ぬう場合に衿型の感じを出すように、アイロンのかけ方にも注意しますと、首になじみます。

へちま衿と同じ倒しにしましたが、打合せや折返り止りの位置により、やや倒れた感じです。折返り線にこだわらずに自然に着こなすほうがよいでしょう。

一般向きのへちま衿ですが、やや後が立つ新しい感じのものです。外まわり線のちょっとしたカーブで野暮な感じにもすっきりした感じにもなりますから注意しましょう。裏衿はバイヤス裁ちにします。

身頃から裁ち出しの衿は、倒し方によって、スタンドカラーからフラットカラーにまで、いろいろ応用できます。上図は後を立たせ、付側にダーツをつまんだものですが、見返し布を裁つ場合はダーツ分をたたんで、ダーツなしに裁ちます。

デザインと解説 笹原紀代

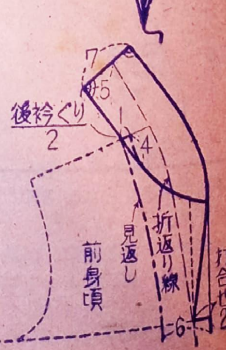
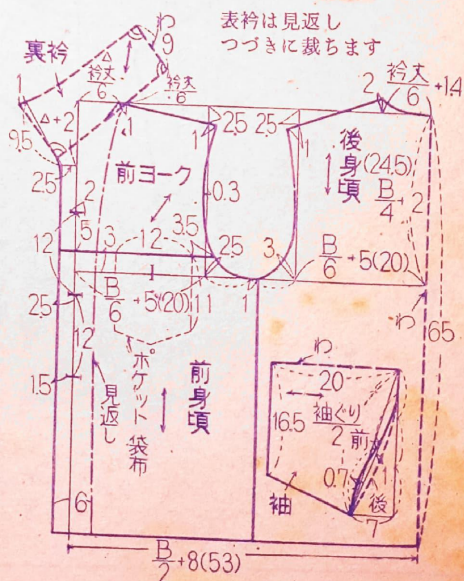
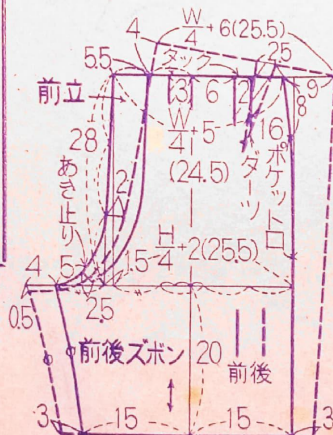
え 柳原操

男子用サンマースタイル

①② ちょっとした外出や仕事着によいいや味のない一般型

③④⑤ 打合せに変化を見せた新しいデザイン。サッカーやリップルで。

⑥の応用デザイン

(作図つき)

⑥ 格子柄の開衿（かいきん）シャツでヨークを斜め地にして柄を生かし、ポケットをつけた若向きです。強烈な日ざしには、濃色のチェックがすてきです。

―デザイン― 笹原紀代

え 原雅夫

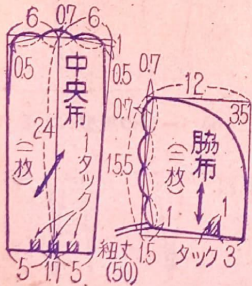
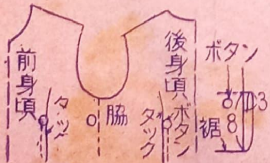
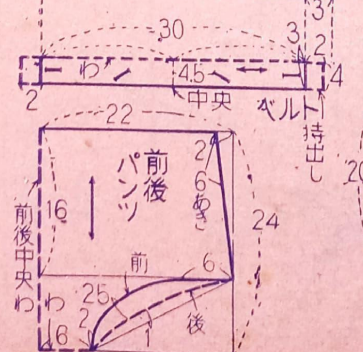
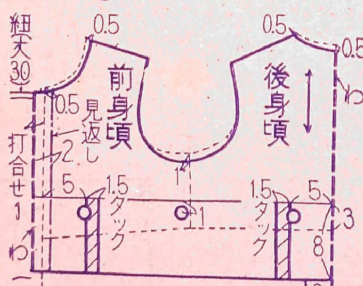
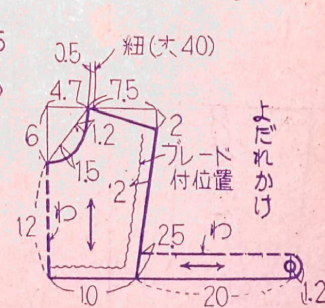
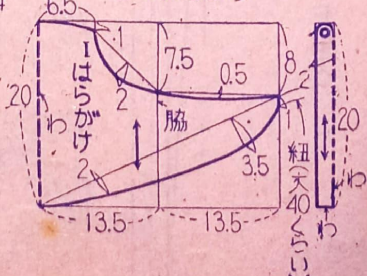
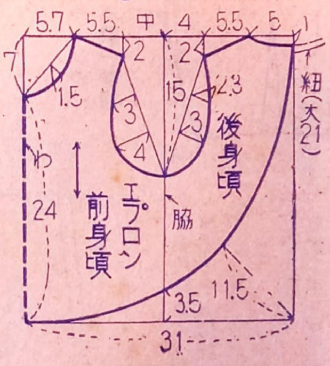
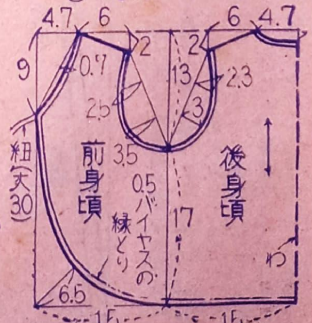
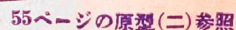
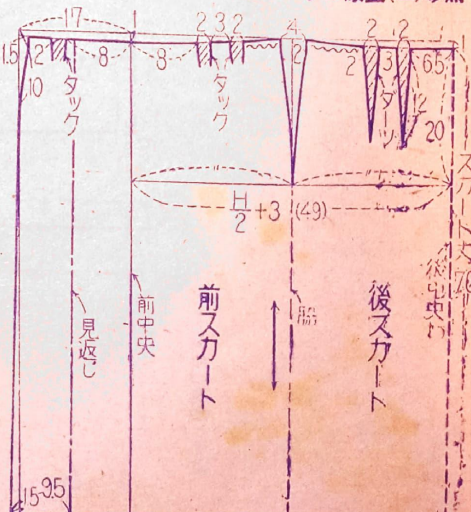
⑥のシャツとズボン

要尺はシャツはシングル幅で2米4分，ズボンは同じ幅で1米7分です。

表衿は見返しつづきに裁ちます

☆男子用の標準寸法は胸囲90センチ、衿丈38センチ、腰囲94センチです。

☆右の作図は、裾と袖口、前端と衿の外まわりヨークの切替え線、ズボン上端は出来あがり線ほかは7ミリのぬい代入りですから前の脇と肩袖下・袖山はさらに7ミリのぬい代をつけて折伏せぬいにします。

盛夏の赤ちゃんものいっさい
—デザイン— 池田淑子
え 柳原操
① スモック飾りのよそゆきとスカラップのボンネット
①のボンネット
(作図つき)
② ボタンつりのはらがけ
(作図つき)
③⑥ 肌ざわりのよい木綿の下着
④ 衿なしの涼しいドレス
(作図つき)
⑥⑦ 重宝なサックコートウエストまでのよだれかけ。
(作図つき)
⑧ 上下をボタン止めにしたロンパース
(作図つき)
⑨のバックスタイル
⑨ 遊び着代りにもなるシャーリングのエプロン。
(作図つき)
⑩ 縁とりのじんべいさん
(作図つき)
①のボンネット
中央布
(二枚)
1タック
脇布
(二枚)
紐(丈50)
タック
身頃の裾は11㌢裁ち出して下図のように8㌢の出来あがりに裏側へ折ってボタン付の力布にします。
前身頃
後身頃
ボタン
裾
タック
55ページの原型(二)参型
⑧のロンパース
紐(丈30)
前身頃
見返し
打合せ
後身頃
タック
ベルト
中央
持出し
前後パンツ
あき
前後中央
前
後
⑦のよだれかけ
紐(丈40)
ブレード付位置
よだれかけ
②のはらがけ
はらがけ
脇
紐(丈40くらい)
⑨のエプロン
紐(丈21)
後身頃
エプロン前身頃
脇
⑩のじんべいさん
紐(丈30)
前身頃
後身頃
バイヤスの縁とり

のスタイルの工夫
洋服を着なれない方にも、気軽にお召しになれるデザインばかりを集めました。ゆるみをやや多めにとってゆったりとお仕立てく
① きもの風に前をゆったりと打ち合わせたブラウスと巻スカートとの組合せ。
（作図つき）
② 衿ぐりから裾に流した前立に通したボウがアクセントの外出向き。
③ アンバランスのカラーがシックな前あきのドレス。
④ 上品な外出用のツーピース。厚地木綿かシャークスキンで。
⑤ 衿から裾まで通した前立が新鮮なワンピース。
（作図つき）
⑤のワンピース
後身頃
見返し
わ
ダーツ
前身頃
前立
B.P
後脇丈と同寸
54ページの原型(一)参照
型紙をたたむ
前後折山
後脇
前脇
前折山
後中央
後折山
タック
前後スカート
前中央
前立
スカート丈70
布幅/2 (43)
要尺はヤール幅で三碼。前後の身頃の幅を同寸法にし、袖丈を十五糎計って袖口と脇を結びます。衿は三糎五、のハイネックにして、前は五糎の前立にします。
スカートは前後の差を二糎つけて重ねてかき、別に前立をかきます。タックをたたみ、身頃ウエスト寸法に合わせてギャザーを寄せます。
①のブラウスとスカート
ブラウスの要尺は碼幅で一碼四分。前後ともネックポイントを一糎ずつ上げて衿ぐりをかきますが、前衿ぐりは丸みをつけて打合せ線と自然に結びます。
スカートの要尺はダブル幅で一碼。用布がシングル幅またはヤール幅のときは下前に接ぎを入れます。ウエストは普通にベルトをつけても結構ですが、縦地の腰布をつけ、右脇ダーツにベルト通しをあけ、下図のように左右の前端に紐をつけ、後にベルト通しをつけて、左脇で結びますと、着心地もよく気くずれしません。
①のスカートのぬい方
下前
後
ベルト通し
脇ダーツのところに穴をあける
後スカート
腰布
ダーツ
見返し
前スカート
下前スカート
タック
袖
前身頃
後身頃
伸ばす
いせ込む
見返し
55ページの原型(二)参照
前スカート
後スカート
前中央
脇
後中央
スカート丈70

ご年配の方の夏
ださい。下着も左のような一揃いを用意しておくと便利です。
⑥
⑥角衿ぐりのワンピースで、気軽に着られるホームドレスです。
⑦
⑦衿なしの打合せにつづけて、スカートにもあきをつけてらくに着られるようにくふうした。優しい感じのプリント柄。
⑧
⑧ウエストに紐を通して結んだ、ゆとりをたっぷりつけたブラウスです。
⑨
⑨濃いめの無地か細い縞柄に向くツーピースで白の替カラーがさわやかな感じです。
──デザイン──
②⑥⑨ 伊東 磨理子
③⑤⑧ 野口 益栄
④⑦ 小笠原のぶを
え 小林 裕
気心地のよい下着一揃い
①前あきのスリップ
②和服風のキャミソル
③丈を長めしにたブルマース
④便利なペティコート
前原型と後の衿ぐりを写して一㌢くり入れ、脇線を二㌢詰めて、前後同時に作図します。
前衿ぐりは胸囲線から三㌢五㍉上をあき止りにして丸く結び、打合せを一㌢五㍉出します。
スカートは前後同じにかき、前中央は、ウエストから十五㌢下をあき止りにして打合せ分を出します。
①のスリップ
後身頃
前身頃
見返し
ダーツ
前ダーツ
前後スカート
後中央わ(前中央)
前後脇
スカート丈67(ドレス丈ひく3)
②のキャミソル
原型の後衿ぐりを写して図のように前後を重ねてかきます。後身頃は中央をわにし、脇ダーツはとりません。
55ページの原型(二)参照
後見返し
前後身頃
後中央わ
前見返し
前ダーツ
前後脇
③のブルマース
四分の腰囲に五㍉加えた寸法を基にして作図しますが、脇側はわにして、前後つづけて二枚を裁ちます。
前後ブルマース
脇わ
H/4+0.5(23.5)
④のペティコート
前後とも同じ型紙で裁てる簡単なペティコートで、見返しは裁ち出しにしてまつり、前中央の左右の図の位置にボタン穴をかがり紐を通して結びます。丈は好みによってかげんします。
前後ペティコート
前後中央わ
前後脇
見返し

形のよい妊婦服・授乳服

盛夏用の妊婦服は、派手な色や凝ったデザインは避け、ぬぎ着がらくで、サイズをボタンやベルトで調節できるようにゆったりと仕立てます。

① 衿もとだけをボタン止めにしたプレーンなブラウスに、調節のきくスカートの上下。

② 斜めに通した前立でワンピース風に見せた、ブラウスとスカート。

③ 衿もとにピンタックをあしらい、ウエストをゴムカタンでぬいちぢめたブラウス。

④ 裾まで打合せを深くとった、きもの風の着やすいワンピース。ウエスト寸法はベルトでギャザー分をかげんしてお召しになれます。

⑤ 前後ともヨークの切替えにギャザーを入れてゆったり仕立てた形のよいスモックです。

⑥ 角衿ぐりのブラウスと、深いタックをたたんだスカートの組合せ。

⑦ つり紐をボタン止めにした授乳に便利なスリップ

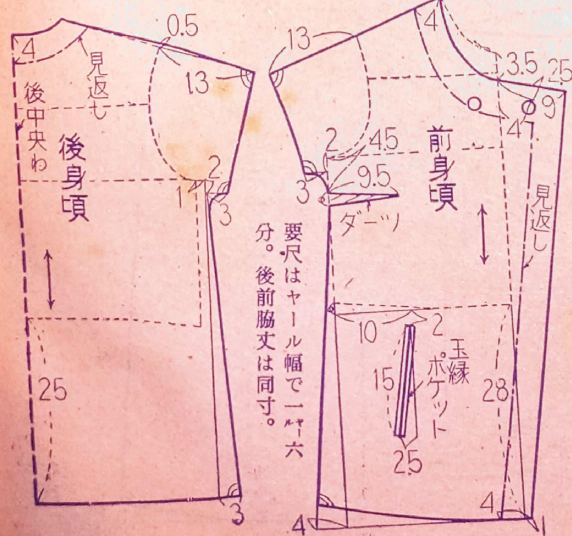
①のスカート

(作図つき)

―デザイン― 南塚トキ

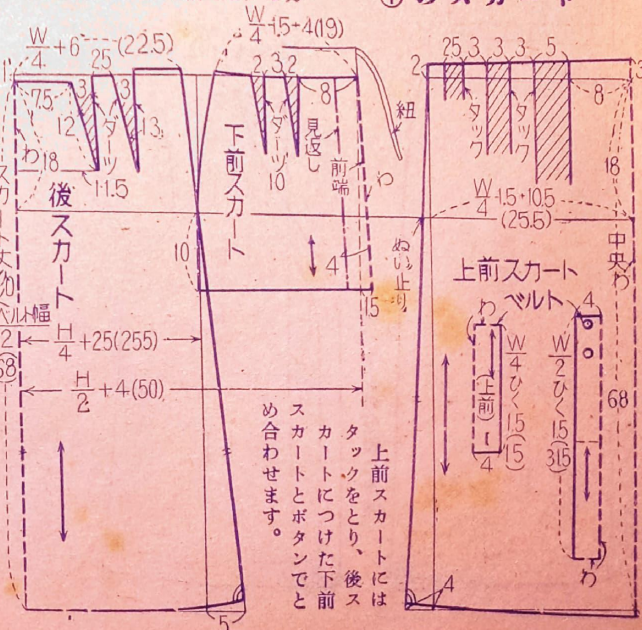
え 小林裕

①のブラウス

54ページの原型(一)参照

要尺はヤール幅で一ヤール六分。後前脇丈は同寸。

前打合せは衿ぐりを三センチ五ミリ下げて九センチ延長し、中央線をウエストから二十八センチ下げて一センチ出した点と結びます。衿ぐりと前端はつづけて始末します。

①のスカート

要尺はシングル幅で2ヤール1分

上前スカートにはタックをとり、後スカートにつけた下前スカートとボタンでとめ合わせます。

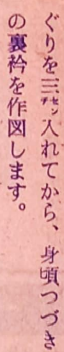
涼しく工夫した
流行の盛夏服30種

口絵3ページ① ウィングカラーのワンピース

〔実物大型紙つき〕 原型㈢参照

格子柄をあっさりとデザインした背の高い方に向くスタイル。配色のよい別ベルトで引きしめてお召しください。

材料・・布地はヤール幅で二メートル七十センチ(三ヤール)。十一インチのジッパー一本。

作図と裁ち方・・(1)＝身頃は原型前脇を一センチ削ってゆるみ分を少なくし、後衿ぐりをくり落し、前も衿ぐりを三センチ入れてから、身頃つづきの裏衿を作図します。

(2)＝見返しはダーツなしで表衿つづきに別裁ちにし、前身頃にはウエストダーツと、スカートには前後ともフレヤー分を入れて裁ちます。(左図参照)

ぬい方・・(1)＝前後身頃のダーツをぬって肩と脇(左脇あきを残す)をぬい、後衿を身頃につけ、見返しを中表に合わせて、前中央のあき止りから、衿の外まわりをぬって、見返しを裏に返し、奥を始末します。

(2)＝袖ぐりはバイヤス布で始末します。

(3)＝前後スカートの左脇あきを残して脇ぬいし、身頃と胴接ぎして、脇あきにジッパーをつけます。

(笹原紀代)

①のワンピース

口絵3ページ④ 衿もとの涼しげな前あきドレス

〔実物大型紙つき〕 原型㈡参照

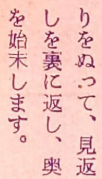
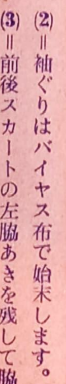
ブラウスに重ねてもよいドレス。厚手布ですと、秋口まで重宝しましょう。

材料・・ドレスはヤール幅で三メートル五センチ(三ヤール四分)。ボタン十一個。

ブラウスはシングル幅で一メートル四十センチ(一ヤール六分)。ボタン五個。

作図と裁ち方・・ドレス・・前後身頃ともロウウエストで、前身頃は中央にスカート布をつづけ、後スカートには前脇スカートをつづけてあります。

(1)＝前後身頃とも、まず原型を写します。

(2)＝後身頃はウエストで六センチ下げて切替え線を引き、脇では袖ぐり下で一センチ出して三センチ下げ、ウエストにダーツをとって脇線を引きます。

袖ぐりは背幅線と脇線を結んで、カーブさせておきます。

(3)＝衿ぐりをくり下げて、袖山をかき、袖口を引きます。

つぎに袖付線を身頃と同寸に、一センチ五ミリのカーブをつけてかき、袖下線

④のブラウス

④のスカートの切開き方

を結びます。

(4)＝身頃の作図がすみましたら、スカートをかいておきます。

(5)＝前身頃も後の要領ですが、脇では袖ぐり下で一センチ削り、中央寄りのダーツにつづけてスカートをかき、前中央に打合せ分を出します。

(6)＝スカートは脇布側もかき、つぎに後スカートを脇線で突き合わせて写し、切開き線を入れておきます。

(7)＝布地を裁つ場合、前身頃は下図のように型紙をたたんで裁ち、後身頃の肩も同じ要領でたたみます。スカートは前ページを参照して、切開き線にタック分を入れて裁ちます。

ぬい方・ドレス…(1)＝前後身頃のダーツと袖付線、肩と脇をぬいます。

(2)＝スカートの後中央をぬって割り、タックを前ページの図のようにたたんでしつけし、身頃と胴接ぎして、前スカート中央のタック奥と接ぎます。

(3)＝前端の見返し分を中表に折って、裾と衿付止りから先をぬい返し、衿ぐりに見返しをつけて、袖口と裾を始末します。

ブラウス…前後のダーツをぬい、肩と脇をぬって、衿にぬった衿をつけます。

衿は両端に穴かがりして、身頃のボタンでとめます。

（鈴木　宏子）

口絵3ページ⑦

セーラーカラーの若向きドレス

〔実物大型紙つき〕　原型(二)参照

セーラーカラーにつづけたボウが可愛い若向きドレス。カラーだけを白地にしても、また変った感じになります。

材料・・スカートと衿布をヤール幅で二メートル二十六センチ（二メートル

原型（一）

～文化式～

＊婦人・子供用とも、身頃は胸囲(B)寸法を基にして各部を割り出し、袖は身頃の袖ぐり寸法を計って作図します。

子供用標準寸法 (単位cm)													
名称＼満年令	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
背丈	20	21	22	23	24	25	26	28	29	30	31	32	33
胸囲	48	50	52	54	56	58	60	62	64	66	68	71	74
腹囲	48	50	52	54	56	58	60	62	63	64	65	女:66 男:67	67 69
腰囲	48	50	52	54	56	58	60	62	女:65 男:64	68 66	71 69	74 72	78 75
着丈	70~30	40	45	50	53	56	60	63	65	70	75	80	85
袖丈	22	23	24	25	27	28	30	32	34	36	38	40	42
裄丈	36.5	39	41	43.5	46	48	50.5	53	55	57.5	60	62	65
頭囲	47	48	49	50	51	52	53	54	54	55	55	56	56
半ズボン丈	26	27	28	30	32	34	36	38	40	43	46	48	50
長ズボン丈	43	46	49	52	55	58	61	64	67	72	77	82	87

婦人用標準寸法（単位cm）

名称＼サイズ	総丈	着丈	背丈	スカート丈	スラックス丈	下ばき丈	胸囲(B)	腹囲(W)	腰囲(H)
大	140	113	40	75	100	47	90	75	100
中	135	106	38	70	95	45	84	66	92
小	128	98	35	65	90	42	78	60	88

名称＼サイズ	腰丈	背肩幅	腕付根	裄丈	袖丈	頭囲	首囲	手首囲	掌囲	肘囲
大	20	40	42	75	55	57	37	17	22	30
中	20	38	38	72	53	56	36	16	20	28
小	18	36	36	68	50	55	35	15	19.5	26

五分）。身頃布を同じ幅で八十九センチ（一ヤール）。スナップ三組。十一インチのジッパー一本。

作図と裁ち方：(1)＝後脇は一センチ出し、前は一センチ削って前後の幅を同寸にし、ダーツを入れてかきます。

(2)＝衿は、前後原型の肩先を一センチ五ミリ重ねて、紐つづきに作図し、上前を長くします。

口は見返し布で始末します。

ぬい方：(1)＝前後身頃のダーツをぬって前端見返しを中表に折り、衿付止りから先をぬい返します。

(2)＝前後の肩と脇（左脇あきを残す）をぬい、スカート脇も同様にぬってギャザーを寄せ、胴接ぎします。

(3)＝衿は、表裏を中表にして外まわりからつづけて結び紐分の衿付止りまでをぬい返し、右図のように身頃につけます。

(4)＝左脇あきにジッパーをつけ、袖

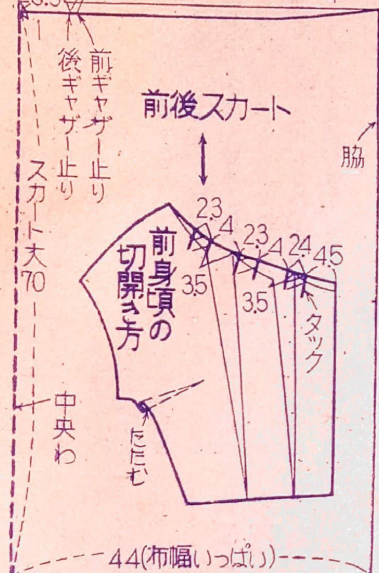
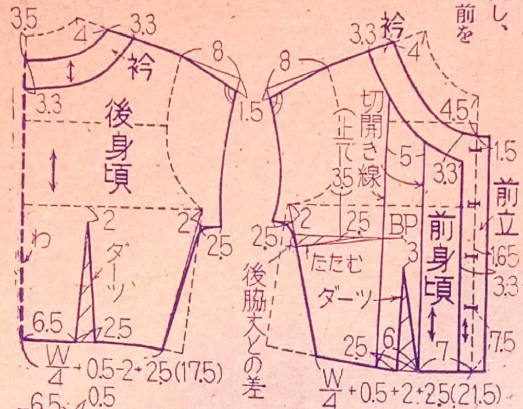
口絵4ページ①
通勤にも外出にも向くワンピース

（解説　和田　文子）

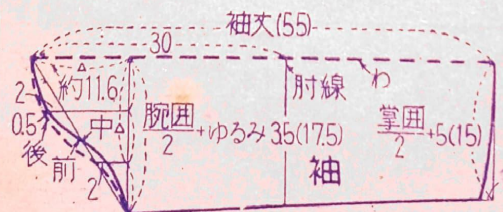
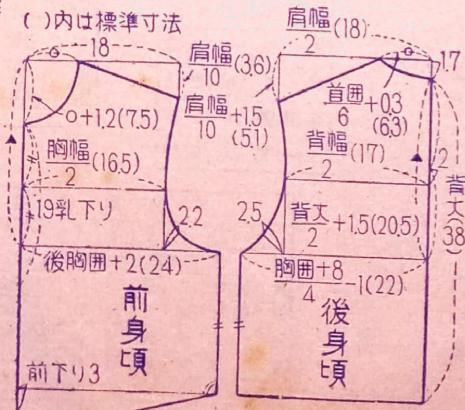
原型（一）参照

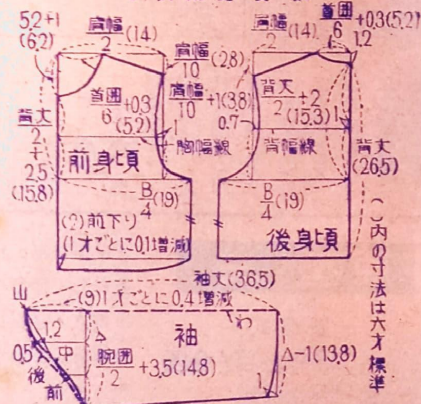
衿につづいた前立と胸もとのタックで清純な感じを出したワンピースです。ボタンとベルトで全体を引きしめましょう。

材料：布地はヤール幅で二メートル四十センチ（二ヤード七分）。ボタン四個。十一インチのジッパー一本。

作図と裁ち方：(1)＝前後身頃とも衿ぐりをくり下げて三センチ三ミリ幅の衿をかきますが、前中央は一センチ六ミリ半の打合せ分を出しておいて、前立をつづけてかきます。

原型（二）

～池田式～

＊採寸寸法を基にして作図しますが、子供用の胸囲・腰囲には十六センチのゆるみ分を加えてください。

婦人用標準寸法（単位cm）

名称	寸法
首囲	36
肩幅	36
背丈	38
胸囲（B）	84
胸幅	33
背幅	34
胴囲（W）	66
腰囲（H）	92
袖丈	55
腕囲	28
掌囲	20
スカート丈	70

子供用標準寸法（単位cm）

名称＼満年令	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
首囲	26.3	27	27.7	28.3	29	29.6	30.3	30.9	31.6	32.2	32.9	33.5	34.2
肩幅	23.5	24.4	25.3	26.2	27.1	28	28.9	29.8	30.7	31.6	32.5	33.4	34.3
背丈	20	21.5	22.8	24	25.3	26.5	27.8	29	30.3	31.5	32.8	34	35.3
胸囲	66	68	70	72	74	76	78	80	82	84	86	88	90
腰囲	66	68	70	72	74	76	78	80	82	84	86	88	90
袖丈	25	27.5	29.8	32	34.3	36.5	38.8	41	43.3	45.5	47.8	50	52.3
腕囲	18.6	19.5	20.4	21	21.9	22.5	23.4	24	24.9	25.5	26.4	27	27.9
掌囲	15.7	16.1	16.5	16.8	17.2	17.5	17.9	18.2	18.6	18.9	19.3	19.6	20
着丈	36	40	44	48	52	56	60	64	68	72	76	80	84
半ズボン丈	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48	50
長ズボン丈	48.5	52	55.5	59	62.5	66	69.5	73	76.5	80	83.5	87	90.5

胸囲・腰囲は採寸したものにゆるみ16cmを加えたもの

(2)＝前身頃の切開き線は二本入れ、図のように切り開き、この分量を三本のタックにふり分けてしるしますが、脇は後脇丈と同寸になるように、余分をバストポイントに向って型紙をたたみます。

(3)＝後衿と、前立つづきの衿は裏表二枚ずつ裁ちます。

ぬい方・・(1)＝前後のダーツと肩・脇(左あきを残す)をぬい、前タックは中央へ向けてしつけをしておきます。

(2)＝右前立の表に玉縁ボタン穴をつくっておき、表裏とも前後の肩を接いでから、外まわりをぬい返し、表布と身頃を中ぬいして、裏布をまつります。

(3)＝スカートの脇をぬい、(左脇あきを残す)ウエストにギャザーを寄せて、胴接ぎをします。ボタン穴裏を始末し、脇あきにジッパーをつけます。(近藤　百合子)

口絵4ページ②　大柄格子の涼しいワンピース

〔実物大型紙つき〕　原型(二)参照

大きな格子の味を生かして上半身とポケットを斜地に使った新鮮なデザイン。前ウエストの斜めタックが印象的です。

材料・・布地はヤール幅で三ヤール三十センチ(三ヤール七分)。十一インチのジッパー一本。

作図と裁ち方・・(1)＝前後原型を写し、前脇は一センチ削って、胸囲のゆるみ分を全体で六センチにします。

(2)＝前後とも衿ぐりを深くくり、後ウエストにダーツをとります。前ウエストのタックは、原型脇線から一センチはいって五ミリ入れて脇線を引いておき、前幅を計って、ウエスト寸法の四分の一をひいた残りの寸法を、タックの幅にします。

(3)＝衿ぐりの前後見返し、ポケットの見返しは、中央を縦地にして別裁ちにし、スカートは布幅いっぱいに三丈分とります。

ぬい方・・(1)＝後身頃のダーツ、前身頃のタックをぬいます。(右下図参照)

(2)＝前後の肩と脇(左脇あきを残す)をぬって割り、衿ぐりには、肩接ぎした見返しを中表に合わせて、ぬい返します。

(3)＝スカートは三枚を接いで(左脇あきを残す)割り、ギャザーを寄せて胴接ぎします。

(4)＝左脇あきにジッパーをつけ、右前スカートにポケットをつけます。

(5)＝袖ぐりは共のバイヤス布で裏見返しに始末します。(解説　和田　文子)

②の身頃

②のスカートと前身頃のタックのぬい方

前後スカート(三枚接ぎ)

口絵4ページ⑤　ジュニアー好みのワンピース

原型(一)参照

体の線のきれいな方に着ていただきたい若向きのワンピース。前身頃のパイピングはプリント柄の一色が上品でしょう。

材料・・布地はヤール幅で三ヤール四十五センチ(三ヤール八分)。配色用のバイヤス布を少々。バイヤス布と同色のボタン九個。

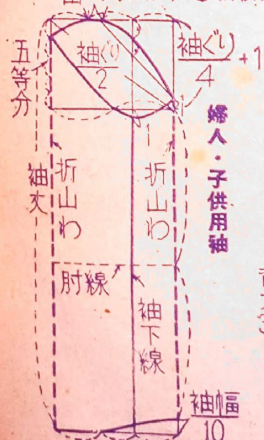
作図と裁ち方・・(1)＝後身頃は脇で原型より一センチ詰め、肩線を五センチ延長して七ミリ下げ、袖ぐり下で一センチ五ミリ上げて肩線と袖をかきます。

(2)＝ウエストでは図のようにウエスト寸法を計ってさらに一センチ五ミリ出し、裾幅四十センチの点と結んで仮の脇線を引きます。

(3)＝つぎに中央布・脇布の切替え線を入れますが、脇線はウエストで一センチ五ミリ入れて形よく引きなおします

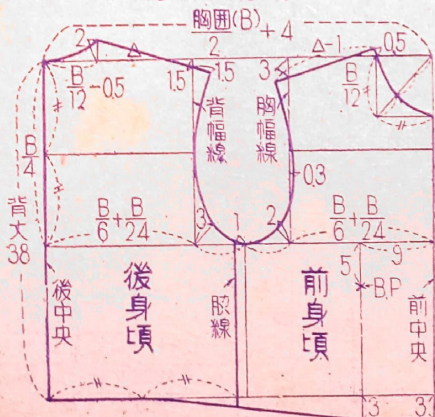
(4)＝前身頃はまず原型を写しておき、さらに原型を肩先で三センチ五ミリ出して、袖ぐり側を

原型(三)

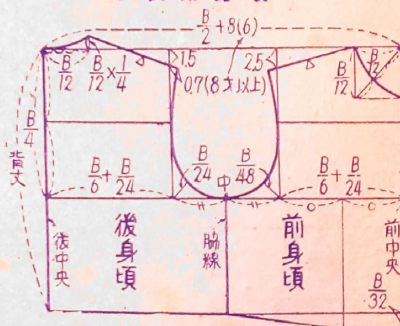
〜笹原式〜

＊身頃は縦に背丈、横に胸囲(B)寸法を基にして矩形をかき、各部かきます。袖は婦人・子供用とも共通で、身頃の袖ぐりを計ってから作図し、原型一と同様に開きます。

婦人・子供用袖

婦人用身頃

子供用身頃

婦人用標準寸法（単位cm）

名称＼サイズ	大	中	小
胸囲	88	84	80
胴囲	72	66	64
腰囲	94	92	88
肩幅	40	38	37
背丈	39	38	37
袖丈	56	55	53
手首囲	17	16	15
スカート丈	75	70	65

子供用標準寸法（単位cm）

名称＼満年令	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
背丈	20.5	21.5	22.5	23.5	24.5	25.5	26.5	27.5	28.5	29.5	30.5	31.5	32.5
胸囲(B)	50	52	54	56	58	60	62	64	66	68	70	72	74
腰囲(H)	50	52	54	56	58	60	62	64	66	68	70	72	74
袖丈	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48	50
着丈	36	40	45	49	53	56	60	64	68	72	76	80	84
半ズボン丈	26	27	29	31	33	35	37	39	41	43	46	48	50
長ズボン丈	40	46	49	52	54	58	61	64	68	72	77	82	87

出して、袖ぐり側を写しなおしてから、後身頃と同じ方法で脇線を引き、ウエストで詰めて三枚に作図します。

(5)＝三枚に作図した前身頃は、下図を参照して、中布と脇布はつづけて裁ちます。

ぬい方‥(1)＝後中央布と脇布を接いで、割ります。

(2)＝前身頃の切替え線にはさむバイヤス布は、中央側は上で一ｾﾝﾁ、ウエストで七ﾐﾘ、裾で一ｾﾝﾁ五ﾐﾘ、脇側はスカートの突合せのタックで消えるように、中ぬいします。(ぬい方図参照)

(3)＝上前は見返しをひろげて、玉縁ボタンホールをつくり、上前・下前とも見返しの上下をぬって始末します。

(4)＝前後の脇と肩をぬって割り、袷にぬった衿をつけて、袖ぐりと裾の始末をします。

（野口　益栄）

⑤のワンピースと前身頃の裁ち方・ぬい方

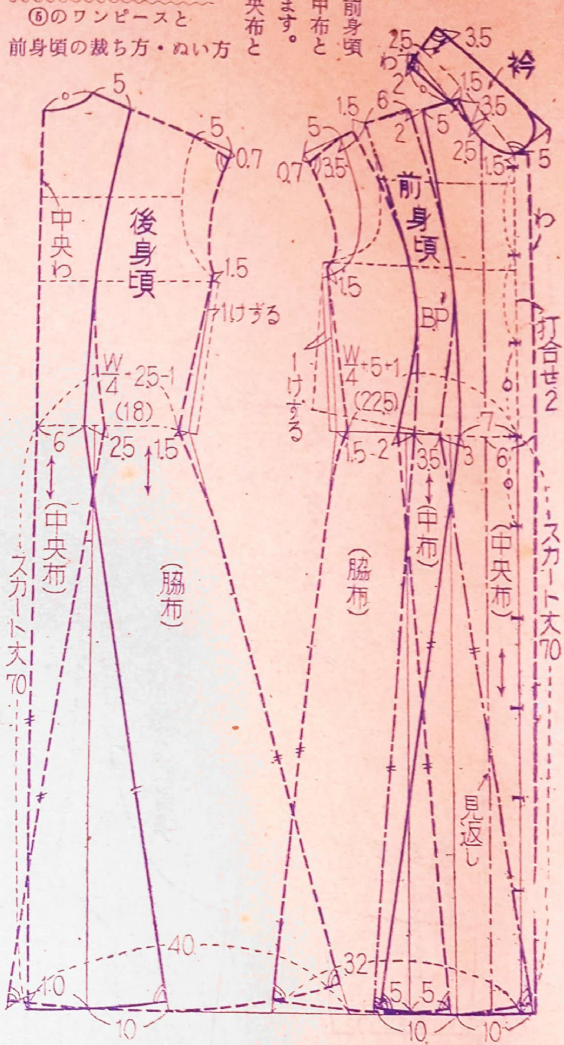
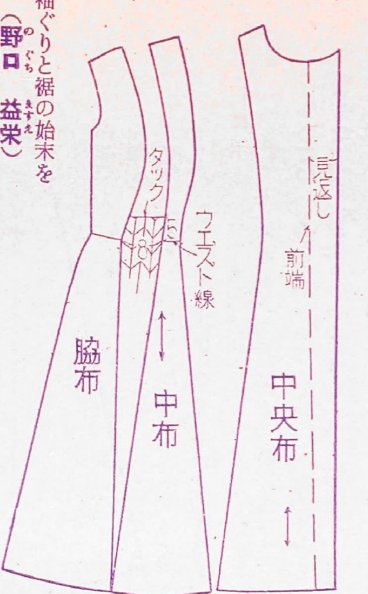
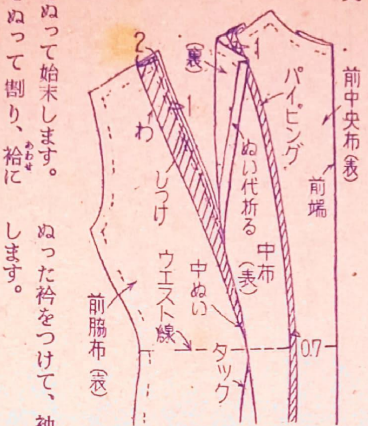
⑥のワンピース

ストラップレスのワンピース

―口絵4ページ⑥―

家庭着にも、海浜でのちょっとした集りにも向く、しゃれたワンピース。色無地や縞を使っても面白いでしょう。

材料‥ヤール幅で二ﾒｰﾄﾙ二十ｾﾝﾁ(二ﾔｰﾙ一五分)。一ｲﾝﾁ幅のリボン五十ｾﾝﾁ。七号か五号のゴムカタン糸。

作図と裁ち方‥背丈三十八ｾﾝﾁ、胸囲八十四ｾﾝﾁ、スカート丈七十ｾﾝﾁで作図してありますが、身幅の多少の差は、ゴムカタンのステッチでかげんができましょう。

(1)＝前後身頃ともは中央をわにし、縦はスカート丈に身頃丈を加え、横は布幅いっぱいにして脇と上部でくって、ぬい代をつけて裁ちます。

(2)＝別に前後の上端につける見返しを三ｾﾝﾁ幅で用意し、ポケットは二枚裁ちます。

ぬい方‥(1)＝ポケットをつくり、前身頃に端ミシンでつけます。

(2)＝前後身頃に見返しを中表につけて、前後とも図のようにステッチしますが、(上糸は普通、下糸にゴムカタンを使う)最初一本おきにミシンをかけ、つぎに二本の間をゴムを伸ばしながらぬいます。

(3)＝前身頃の脇を後身頃に合わせて、余分を胸ぐせとしていせ、前後の脇ぬいをして、裾をまつります。

(4)＝胸もとにリボンを結んでつけます。

（近藤　百合子）

軽快なセパレーツ

―口絵4ページ⑦―

原型(一)参照

ピケや麻などでつくりたい重宝な組合せ服です。胸当布はいくぶん柔らかい布地がよいでしょう。

材料‥シングル幅で、ウエストとスカートは四ﾒｰﾄﾙ四十ｾﾝﾁ(五ﾔｰﾙ)。パンツは一ﾒｰﾄﾙ十ｾﾝﾁ(一ﾔｰﾙ二分)。ボタン八個。胸当布はシングル幅で二十六ｾﾝﾁ。別に刺繍糸少々と七ｲﾝﾁのジッパー一本。前かん一個。スナップ五組。

⑦の後スカート　⑦のパンツ　⑦のウエスト　⑦の前スカート　⑧のドレス　⑧のボレロ

作図と裁ち方…ウエスト…(1)＝前後とも原型脇線を一センチずつ削り、丈を十七センチ延長して衿ぐり・袖ぐりを下げます。

(2)＝胸当布は中央をわにして、身頃に四センチ重ねて作図し、一センチ間隔に五ミリの深さにタックをとり、山を中ぬいして、型紙を置いて裁ちなおします。

(3)＝身頃の下前持出しは六センチ幅に用意し、上前・下前とも見返しを別にします。

スカート…ウエストぬい代は多めにつけ、タックをたたんでから、裁ちなおします。

パンツ…股上とH線を基に矩形をかき、前パンツからさきに作図します。裾線はわにして、カフス幅の二倍にぬい代をつけて裁ち出します。

ぬい方・ウエスト…(1)＝前後ダーツをぬい、肩脇をぬって、衿ぐりと前端・袖ぐりには見返しをつけます。(下前端には持出しをはさむ)

(2)＝衿ぐりから前端に刺繍糸でステッチし、胸当布は右をとじつけ、左をスナップでとめます。

スカート…前後タックの山にステッチをして、タックをとり、上前打合せに玉縁ボタン穴をつくって、脇をぬい、見返しをつけて、ベルトをつけます。

パンツ…(1)＝前後のダーツと、股上をぬい、脇ぬい(左脇あきを残す)をします。

(2)＝股下をぬい、裾口をダブルに折り、脇あきにジッパーをつけ、ウエストにベルトをつけます。

(**小池千枝**)

口絵5ページ⑧

縞のドレスと白いボレロのセット

原型(一)参照

切替え線で縞を面白く生かした涼しいサンバックドレスは、ボレロを着ると外出用にもなります。ドレスは木綿地、ボレロは白ピケなどでおつくりください。

材料…ドレスはシングル幅で三メートル九十センチ(四ヤール四分)。ボレロはヤール幅で七十五センチ。白いボタン九個。

作図と裁ち方…ドレス…(1)＝前後とも原型の脇を一センチ削り、後身頃は中央を斜めにかきなおしてダーツをとり、上下四枚に裁ちます。

(2)＝前身頃の中央布はあき止りまで一センチ三ミリ幅の打合せをつけてスカートつづきにし、前脇布は後衿をつづけ、脇で後脇丈と同寸になるように型紙をたたんでス

⑧の前身頃・スカート裁ち方総合図

カートと別に裁ちます。

(3)＝ポケットは前脇スカートの縞と合わせます

ボレロ…(1)＝原型より丈を上げて、肩先を出し、前脇にダーツをとります。

(2)＝前後とも三㌢幅の見返しを、別々に裁ちます。

ぬい方・・ドレス…(1)＝後の身頃とスカートの中央を接ぎ、胴接ぎをします。

(2)＝前身頃の中央布の右打合せに玉縁ボタン穴をつくり、下前とも見返しをつけて、あき止りから下を接ぎます。

(3)＝前脇スカートにポケットをつけ、後衿中央を接いだ脇布を接いで、中央布と接ぎ合わせます。

(4)＝前後の脇ぬいをして、衿ぐり・袖ぐりと後上端を共のバイヤス布で始末します。

ボレロ…(1)＝前脇のダーツをぬい、前後の脇と肩をぬい、袖口を共のバイヤス布で始末し、前後見返しの脇を接いで、身頃とぬい合わせます。

(2)＝上前にボタン穴をつくった衿を身頃につけます。

（山田禎子）

口絵5ページ⑨

ウィングカラーの若々しいドレス

原型（二）参照

若々しい理知的な方におすすめしたい気軽な外出着です。張りのある木綿地やエバグレーズなどでおつくりください。

材料・・ヤール幅で四ﾒｰﾄﾙ四十五㌢（五ﾔｰﾙ）。十一㌢のジッパー一本。ボタン二個。

作図と裁ち方・・(1)＝後身頃は脇で原型より一㌢出し、前は一㌢削ります。

(2)＝前身頃は衿つづきに作図しますので、ネックポイントから三㌢下げて三㌢出した点と折先を結んで折返り線とし、後衿を作図して見返し線を入れ、身頃つづきに裁ちます。（上図参照）

ぬい方・・(1)＝前後のダーツをぬい、前衿ぐりのタックをぬって肩先のほうへ倒します。

(2)＝上前打合せに玉縁ボタン穴をつくって、後衿の中央を接ぎ、衿の外側をぬい返してから、前後身頃の肩を接ぎ、衿をぬい合わせて、裏でまつります。

(3)＝つぎに身頃・スカートとも左脇あきを残して脇ぬいし、胴接ぎをします。

（池田淑子）

口絵5ページ⑩

ハイウエストのモダンな若向き

衿もとを大きく開き、ハイウエストにした流行のスタイル。ブロードの大柄格子が好ましいでしょう。

材料・・ヤール幅で二ﾒｰﾄﾙ七十㌢（三ﾔｰﾙ）。ボタン十二個。

作図と裁ち方・・胸囲八十四㌢にゆるみ十二㌢、腹囲六十七㌢、背丈三十七㌢、スカート丈六十九㌢で作図してあります。

(1)＝前後とも、身頃・ベルト・スカートに分けて作図し、衿ぐり見返しは身頃と別に裁ち、前端見返しは、身頃ベルト分をつづけてとります。

(2)＝前スカートは見返しを裁ち出

し、後衿ぐりでは型紙を七㍉たたんで用布を裁ちます。

ぬい方…(1)＝前身頃・ベルトスカートの上前打合せに玉縁ボタン穴をつくります。

身頃にタックをとってベルトを接ぎ、前端に見返しをつけ、スカートもタックをとってベルトと接ぎます。

(2)＝後身頃も胴接ぎし、肩・脇をぬって、折山から二つに折った衿を肩接ぎした見返しではさみづけます。

⑩のワンピース

直角にウエスト線を引き、脇ダーツをとります。

口絵5ページ⑭

セーラー風のサンマードレス

〔実物大型紙つき〕 原型(一)参照

（桑沢洋子）

セーラーカラーとポケットにつけたテープが若々しい海浜着です。

材料…シングル七十四㌢幅で三㍍三十㌢（三ヤール七分）。バイヤステープを出来あがり幅一㌢八㍉で一㍍五十㌢。

白バックル一個。スナップ七組。

作図と裁ち方…(1)＝身頃は前後とも脇で幅を一㌢ずつ削り、肩幅を四㌢にして、袖ぐりを一㌢五㍉上げます。

(2)＝前は中央線に上前・下前とも裁ちます。

(3)＝前あきの部分は身頃、スカートともぬい代をつけずに裁ち、前立布は幅の二倍にぬい代をつけて身頃・スカートをつづけて上前・下前とも裁ちます。

(4)＝衿は一枚裁ちます。

ぬい方…(1)＝前後身頃のダーツをぬい、前スカートにテープを端ミシンでつけたポケットをつけます。

(2)＝身頃の肩と脇をぬい、袖ぐりを共のバイヤス布で始末します。

(3)＝衿にテープを表見返しにつけ、身頃にバイヤス布でくるみづけます。

(4)＝前後スカートの脇を接ぎ、前タックを突き合せにたたんでとめ、胴接ぎして上図を参照して、前立をつけます。

(5)＝衿もとのボウは、テープをぬい返してとめます。

（山田禎子）

⑭の衿と身頃

⑭の前立のつくり方

⑭のスカート

口絵10ページ①

切替えをポケットにした通勤用

原型(二)参照

細かいチェックでつくったスリーブレスのブラウスはタフタ、サーキュラースカートもタフタで、若向きの外出着です。

材料……ブラウスはヤール幅で一㍍二十五㌢（一ヤール四分）。ボタン四個。スカートは同じ幅を三㍍四十㌢（三ヤール八分）。七インチのジッパー一本。鈎ホック二組。

作図と裁ち方…ブラウス…前後の原型を写して丈を伸ばし、ヨークの切替え線を入れます。ヨークはバイヤスで裁

ち、ポケット袋布を裁ち出します。

スカート…図を参照して全円に作図し、前後の中央は、横布でわに裁ちます。

ぬい方・ブラウス…(1)＝ダーツをぬい、下図のように前身頃のポケットロに袋布をつけて、ヨーク付と袋布の周囲をつづけてぬいます。

(2)＝見返し布を合わせて衿付止りまで前端をぬい返し、肩・脇をぬって前へ折ります。

(3)＝衿をぬってつけ、袖ぐりはバイヤス布で裏見返しにし、裾を三つ折りぬいにします。

スカート…(1)＝前後の脇を割りぬいにして、左脇あきにジッパーをつけ、表裏ベルトの右脇を接いで心を据え、上側と左脇をぬい合わせます。

(2)＝スカートに表ベルトをぬいつけて、裏ベルトをまつります。

（解説　和田文子）

①のブラウス

①のポケットのつくり方

①のスカート

口絵10ページ②
通勤用のモダンな組合せ

原型(一)参照

ブラウスは白のブロード、スカートはオールドローズの綿ピケでつくったふだん着。ブラウスのヨークと衿はスカートの布で。

材料：ブラウスはシングル幅を一メートル二十センチ（一ヤール四分）。ボタン五個。スカートはヤール幅を一メートル六十五センチ（一ヤール八分）。七インチのジッパー一本。ボタン一個。

作図と裁ち方・ブラウス…(1)＝原型を写して丈を伸ばし、袖ぐりを肩で三センチ出して引きなおします。

(2)＝前身頃のヨークは、図のようなカーブ線で四センチ幅に配色布分も入れ、衿は肩で三センチ重ねて二センチ五ミリ幅にかき、バイヤス裁ちにします。打合せを一センチ五ミリ持ち出し、見返しを四センチ幅に裁ち出します。

(3)＝袖口布を図のように縦地で裁ちます

スカート…ウエストは四分の一にタックの分を加え、裾幅を三十五センチと決めて作図し、脇で前後の差を二センチつけて裁ちます。

ぬい方・ブラウス…(1)＝ダーツをぬって中央側へ倒し、脇ダーツは上向けに折ります。

(2)＝ヨークと身頃の切替えに配色布を接いでぬい代を割ります。

(3)＝肩・脇をぬって割り、袖ぐりに袖口布をつけ、見返しを裏へ折って、上前にボタン穴をかがり、裾を三つ折りにしてぬいます。衿は外まわりをぬって衿ぐりにはさみづけます。

スカート…(1)＝左脇あきを残して脇をぬって割り、あきはジッパーをつけます。

(2)＝タックを図のように重ねて折りたたみ、ベルトに心を入れてベルト付をし、裾をまつります。

（野口益栄）

②の組合せ

口絵10ページ③
はつらつとしたブラウスとスカート

原型(一)参照

ブラウスは白のブロードで横にタックをとり、スカートは大柄模様のリップルで、ギャザーを寄せた涼しい組合せ。

材料・・ブラウスはシングル幅を一メートル六十センチ（一ヤール八分）。ボタン四個。スナップ二組。スカートもシングル幅を二メートル三十センチ（二ヤール六分）。十インチのジッパー。ボタン一個

作図と裁ち方・ブラウス…原型を写して丈を延ばし、肩線を延長して袖をかきます。前身頃は別図のようにタック分を切り開いて入れ、タックをぬってからもう一度型紙を当てて標をつけなおします。

スカート…図を参照して脇に五センチの傾斜をつけて前脇を引き、後はさらに二センチ入れます。玉縁ポケットをしるします。

ぬい方・ブラウス…(1)＝前身頃のダーツとタックをぬって下向きに折ります

(2)＝肩・脇をぬって前側へ折り、前打合せの裏側へ見返し布をつけて、衿は身頃と見返しではさみづけにします。（後は共バイヤスではさむ）袖ぐりは共バイヤスの裏見返しにします。

スカート…前に図を参照して玉縁ポケットをつくってから、左脇あきを残して脇をぬって ① ぬい代を割り、ジッパーをつけます。② 胴まわりにギャザーを寄せてベルトをつけます。③ 裾は三つ折りぐけにします。（原田茂）

③のブラウスとスカート切り開き方とぬい方

すっきりとしたブラウスとスカート

——口絵10ページ④——

スリーブレスのブラウスは、低めのカラーをつけた中年向き。タイトスカートはタックつきです。

材料・・ブラウスはシングル幅を一メートル五十センチ（一ヤール七分）。ボタン三個。スカートは同じ幅を一メートル六十センチ（一ヤール八分）。七インチのジッパー一本。ボタン一個。

作図と裁ち方・・上下ともサイ

④の後身頃

ミシンの手入と故障の直し方

ご家庭の必需品としてミシンは非常に普及してまいりましたので、ミシンの使い方を一通りご存じない方は少ないくらいになりました。しかし機械は複雑巧妙な働きをするものでありますから、常々のお手入が大切で、掃除や注油を忘れずにしませんと、色々故障の原因ともなります。

★油のさし方　注油には良質のミシン油を使うこと。注油は毎週一回ぐらい各注油部に一、二滴ずつさします。これは多すぎると油が不経済であるばかりでなく、だいじな生地を汚してしまったり、また綿ぼこりを呼んで、かえってぐあいが悪くなります。

ミシンの頭部に十四カ所の注油部があります。布地の通る平面部の穴は注油する穴ではなく、付属品の定規や刺繍板の取付穴です。（第一～三図参照）

ミシンを裏返して各部品の動きすれ合う個所にも全部注油すること。胴部の注油は忘れがちですが、これも週に一度ぐらいは一、二滴ずつすれ合う場所に注油します。（第三、四図参照）

★カマの手入　カマは一カ月に一度ぐらい、はずして掃除しましょう。いま流行の開閉ガマは簡単に取りはずしができます。第五図のつまみ①を左右に開いて中ガマと中ガマ押えを取り出し、ミシンに取り付けてある大ガマの内側や上部に付着している塵を掃除して注油し、中ガマと中ガマ押えを元通り取り付けてつまみを左右から締め付けます。この時はずみ車を静かに手で廻してみて異常がなければ正しい取付です。

固定ガマの場合は第六図の大ガマの両側にある取付ねじをゆるめて、大ガマを取りはずします。次に第七図のねじ①をゆるめて②及び③の部品をはずしますと、中ガマもはずれます。中ガマや三日月③及び大ガマの内側に付着した塵を掃除し、元通り組み立てます。そして中ガマが大ガマの中で円滑に廻ることを確めたら、注意して針を最高位置まで上げておき、大ガマをミシンにしっかり締め付けます。その時はずみ車を静かに手で廻してみて廻転に異常がなければ正しい取付となります。

布地の種類	針の番号	使用糸
ボイル、ベンベルグ富士絹、デシン、モスリン	9	細目羽二重
キャラコ、ポプリンサージ、一般木綿、薄地毛織、メルトン	11	80－100番カタン糸、羽二重
一般織物、麻、カーテン	14	50番カタン糸
厚地織物、防水布	16	40～50番カタン糸

（第一図）

（第二図）

故障の見方と直し方

(一)上糸の切れる場合＝**A**　糸の掛け方を誤った時——使用説明書により正しく糸を掛けます。**B**　糸の緊度が強過ぎる時——糸調子ナットを向う側に廻してゆるめます。**C**　針が曲っているか、針先の鈍い時　**D**　糸の質の悪い時。**E**　針の取付方が不正の時——針の平面部を内側にして針溝の止るところまで正しく挿入し、針止めねじをしっかり締めます。取り付けたら必ず針棒を静かに上下してみて、針が針板の穴の真中にまっすぐ落ちるかどうか確めます。

(二)下糸の切れる場合＝**A**　糸の緊度の強い時——ボビンケースの糸調子ばね止めねじを左

ズは婦人用の標準寸法で原型を使わずに作図します。

スカート…前は縦七十センチ五ミリ、横三十二センチの矩形を基にしてかきます。後は右上端に直角線を引き、裾幅を図のように細くとって脇線を結びます。

ぬい方・ブラウス…(1)＝ダーツをぬって中央側へ折り、後肩をいせ込んで肩・脇をぬい、前へ倒します。

(2)＝衿の外まわりをぬい合わせておき、見返しの肩を接いで、身頃と中表に合わせ、間に衿をはさんで衿付から前端をつづけてぬい合わせます。

ぬい代をととのえて、見返しの奥側に端ミシンして荒くまつります。

(3)＝袖ぐりはバイヤスで裏見返しにつくり、裾は三つ折りにしてぬい、ボタン穴をかがります。

スカート…(1)＝左あきを残して脇をぬい、あきはジッパーをつけます。

(2)＝胴まわりのタックを図のようにとって、ベルトは心を入れてぬいつけます。裾は三つ折りにしてまつります。

口絵10ページ⑤

外出向きのブラウス

〔実物大型紙つき〕 原型(二)参照

（菅谷 文子）

簡単なドロンワークで引きたてた外出用ブラウス。麻・薄地木綿などで。

材料・・シングル幅を一メートル十八センチ（一ヤール三分）。ボタン六個。

作図と裁ち方・・(1)＝原型を写して丈を延ばし、脇で前後の差をとり、肩線を引きなおして袖丈を七センチとします。

(2)＝衿は図を参照して四枚裁ちます。

ぬい方・・

(1)＝前身頃のドロンワークをしますから図案を形よくかいて写し、⑤のドロンワーク模様のまわりをミシンステッチします。これを心にして図のようにオー

クロスステッチ(表側)
オーバーカスト
地ぬいミシン
ヘムステッチ(裏側)
4本残す
5本抜く

④の前身頃とスカート

に廻してゆるめます。

B ボビンケースに糸の通し方を誤った時

C ボビンが不良で廻らないか、又は糸を巻き過ぎた時

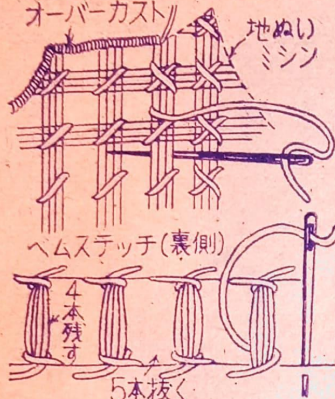
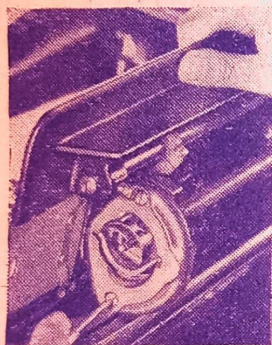
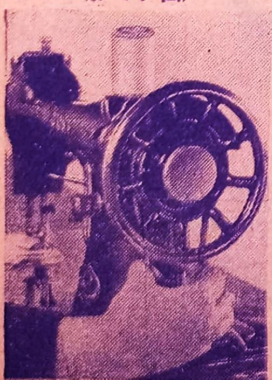
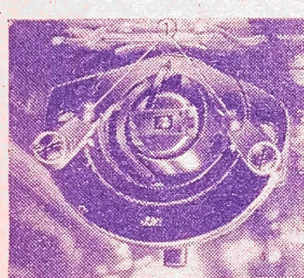
D ボビンケースのばねが摩擦し、溝が損じた時

(三)針の折れる場合＝A 針の番号と糸の太さが合わない時 **B** 針板又は押えに針の当る時 **C** 針が悪いか又は針の取付法が悪い時

針の良否を見るには右図の要領で行います。

0.1mm

（第三図）

(四)縫目が飛ぶ場合＝A 針が曲り、或は針先が丸い時 **B** 針棒に針が正しく取り付いていない時 **C** 針棒が上に上がり過ぎている時 **D** 針が糸に比べて太過ぎる時 **E** 針が短か過ぎる時 **F** 押えの圧力が弱い時

(五)縫目調子の悪い場合＝A 上糸、下糸の緊度が適当でない時――この場合には輪が出来ます。もし輪が上方に出る時には下糸の調子を緊め、輪が下方に出来る時には上糸の調子を緊めて下さい。 **B** 糸吊ばねの位置が不良で、その緊張力が不十分な時 **C** 布地の送り出しが不完全な時――即ち布地に対し、圧力不足か又は送りの歯が低い時

(六)縫目に皺の寄る場合＝A 上糸下糸の緊度が強すぎる時 **B** 布地に比べて縫目が長すぎる時 **C** 布地に比べて糸の太すぎる時 **D** 針先の少し曲った時

(七)ミシンの運転の重い場合＝A 油が切れた時 **B** 油の質不良の時――ベンジン、揮発油を少量さして機械を早く廻した後、良質のミシン油を少し余分にさして下さい。 **C** ベルトの緊度不良の時――緊度が弱いと滑ってはずみ車が空転し、又強過ぎると重くなります。ベルトははずみ車が滑らない程度の緊度を保っているのが良く、第八図のようにベルトの向う側と、手前側をつかみ寄せた時、このベルトの間隔が四、五センチを適当とします。もし長ければ、切り縮めて継ぎ合わせて下さい。 **D** 糸がカマの中に搦まった時

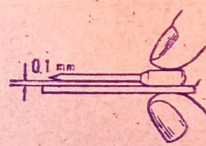
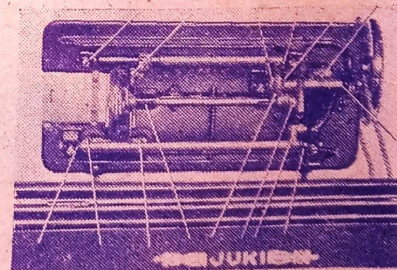
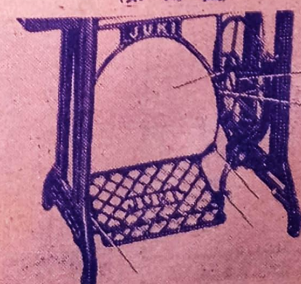
（提供 ジューキミシン）

（第四図）

（第五図）

（第六図）

（第七図）

（第八図）

パーカストで輪郭をかがり、中は縦横とも糸を五本抜いて四本残し、これをクロスステッチでかがります。

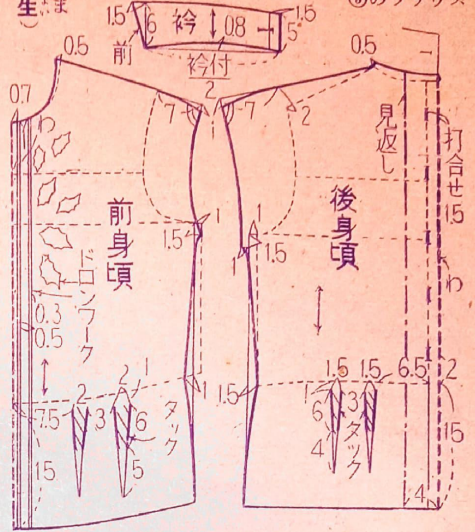
中央の縦線は五ミリと三ミリ幅に糸を抜いて、両側をヘムステッチでかがります。糸は五十番のカタン糸がよいでしょう。

(2)＝タックをとり、肩・脇をぬいます。衿を袷に仕上げ、バイヤスで包みづけます。

（近見彌生）

⑤のブラウス

口絵10ページ⑧ 衿もとの涼やかなブラウス

原型（三）参照

プレーンな縞のよさを生かした奥様向きのブラウスで、衿ぐりを大きくくって仕立てます。

材料・・シングル幅を一メートル六十五センチ（一ヤード八分）。ボタン四個。

作図と裁ち方・・(1)＝原型を写して、身幅を同寸にして丈を延ばします。肩先を一センチ上げて肩線を引きなおし、袖ぐり・脇線をつづけてかきます。

(2)＝用布を裁つときは、縞の傾斜に注意し、見返しつづきの表衿は前身頃と合うように、裏衿は斜地、前立は横地に裁ちます。

ぬい方・・(1)＝ダーツをぬって前中央をぬって割り、肩をぬって裏衿を中表につけます。

(2)＝前立を前身頃の中央におき、図のように見返しつづきの表衿を中表に重ねて外まわりをぬい、裏に返して奥をまつります。

(3)＝左脇あきを残して脇をぬい、袖ぐりを共バイヤスで裏見返しに始末し、裾をまつります。

（笹原紀代）

⑧のブラウスとぬい方

口絵10ページ⑨ 変りドロンワークしたスタイル

原型（二）参照

ドロンワークとアップリケを併用した手芸的なブラウスです。

材料・・シングル幅で一メートル三十センチ（一ヤード四分）。白木綿のテープを一センチ幅五十センチ、二センチ幅七十センチずつ。小ボタン七個。

作図と裁ち方・・前原型を二センチ倒して写し、打合せ分を持ち出し、ドロンワークの位置をしるします。

ぬい方・・(1)＝さきにドロンワークをしますから、標の外側の織糸を四本ずつ抜き、まん中に裏からテープを当てて、下図のようにヘムステッチをかがるときいっしょにすくいます。

(2)＝肩・脇をぬい、打ち合せと袖口の見返し奥も、同様に縦糸を抜いてヘムステッチをするときにいっしょにすくいます。

衿付をします。

(3)＝ベルトの脇を接ぎ、身頃にタックをとってベルトをつけ、裾をまつります

（近見彌生）

⑨のブラウスとドロンワーク

前原型の倒し方

口絵11ページ⑩ オーガンディ向きのプレーンなデザイン

布地の透明な美しさを生かすために、ごくシンプルにデザインしたブラウス。衿もとのきれいな方に向きます。

材料・・シングル幅で一メートル三十センチ（一ヤード五分）。スナップ六組。

作図と裁ち方・・(1)＝前後身頃とも原型を使わずに作図します。寸法は胸囲八十二センチにゆるみ十センチを加えた寸法です。

(2)＝前身頃は肩から切込みを入れて下をたたみ、開いた分をタックにし、ぬい代は布地が薄いので全部同寸にします。

ぬい方・・ナイロン布地は熱に弱いた

⑩の後身頃

め、強いアイロンは絶対に禁物です。

(1)＝ダーツをぬって中心に折り、肩のタックをつまんで肩・右脇をぬい、左脇は裾まで全部脇あきにつくります。

(2)＝裾をまつり、袖口・衿ぐりは見返し布をつけます。

(諸岡美津子)

口絵11ページ⑪

細縞を生かしたブラウス

原型(一)参照

抜き衣紋風の感じにした奥様向きの涼しいブラウス。木綿・麻などの無地または細かいプリントでおつくりください。

材料・・シングル幅を一メートル三十センチ(一ヤール五分)。スナップ六組。ボタン二個。

作図と裁ち方・・(1)＝前後の原型を写して丈を延ばし、脇線の位置を訂正します。

(2)＝衿ぐりをくりなおして肩線を延ばし、袖を図のように作図して脇線を引き、ダーツをかきます。

(3)＝用布を裁つときは、前後身頃とも中央をわに裁ち、残りから衿を幅も丈も倍にして裁ちます。

ぬい方・・(1)＝ダーツをぬって中央側へ折り、肩・脇をぬい合わせて割りますが、左脇はあき止りまでにし、脇あきは後に持出し布、前に見返し布をつけます。

(2)＝衿を前中央で接ぎ、幅二つ折りにして身頃と見返しの間にはさんでつけます 見返しの奥側は荒くとじつけます。

(3)＝袖口は肩先のあき止りまでバイヤスの見返し布をつけてボタン止めにし、裾をまつります。

(小池千枝)

口絵11ページ⑫

スポーティなどなたにも向く通勤用

原型(二)参照

化繊・ポプリンなどでつくりたいシンプルな若向きブラウス。なにも飾りのないところが、かえって好ましい感じです

材料・・ヤール幅で一メートル三十センチ(一ヤール五分)。スナップ四組。

作図と裁ち方・・(1)＝原型を写して丈を延ばし、肩線を引きなおして二センチ延ばし、袖ぐり・脇線・ダーツをかきます

(2)＝前は打合せ分を出し、衿ぐりを一センチ上げて、ネックポイントから四センチ下と結んで衿ぐり線を訂正し、衿を図のように作図します。袖口布は図を参照してバイヤスに裁っておきます。

ぬい方・・(1)＝ダーツをぬって中央へ倒し、肩・脇をぬいます。前端へ見返し布を中表に折って、衿付止りから先と、裾は見返し幅をぬい、表に返します。

(2)＝衿は外まわりをぬい合わせて、裏衿を身頃表に、表衿を見返しにつけて後は表衿をまつります。

袖口布は袖下をぬって中表につけ、幅二つに折って裏側でまつります。

(小笠原のぶを)

口絵11ページ⑬

ツーピース風の通勤・外出向き上下

原型(二)参照

通勤・通学にふさわしい若向きのツーピースです。スカートはフレヤーを充分に入れ、プレーンなブラウスは、縁まわりをスカートの共布で玉縁にしたもの。

材料・・ブラウスはシングル幅で一メートル(一ヤール一分)。小ボタン七個。スカートは七十六センチ幅ものを三メートル(三ヤール四分)。七インチのジッパー。ボタン一個。

作図と裁ち方・・ブラウス…(1)＝原型を写して肩線を三センチ延ばし、袖ぐりを詰めます。

(2)＝丈を一応ヒップ線まで延ばしてウエスト線から六センチをしるし、図のように脇線・ダーツを引きます。

前端は打合せ分を持ち出し、前かどを図のように欠き落します。

(3)＝用布を裁つときは、玉縁をとる部分はぬい代なしにします。

スカート…前後スカートを半径二十一センチの円裁ちにかき、ウエスト線の脇で差を二センチつけます。

ぬい方・・ブラウス…(1)＝後ダーツをぬって中央へ折り、肩・脇をぬって前側へ倒します。

見返しは奥側を端ミシンして裏側へ重ね、上前へボタン穴をかがります。

(2)=スカートの残り布から二センチ幅のバイヤスを裁ち、袖ぐりと衿ぐりから前端・裾をぐるっと後までバイヤスを中表に合わせてつけ、裏側を細かくまつります。

スカート…(1)=前後スカートの中央をぬって割り、左脇あきを残して脇をぬい、あきはジッパーでととのえます。

(2)=胴まわりは、ベルトに心を入れてはさみづけます。

（**小笠原**（おがさわら）**のぶを**）

口絵11ページ⑭

シャツブラウスと変りタイトスカート

原型(二)参照

ブラウス・スカートとも、どちらも落ち着いた好ましさをもっています。

材料・・ブラウスはヤール幅で一メートル二十センチ（一ヤール三分）。ボタン五個。スカートはヤール幅で一メートル六十センチ（一ヤール八分）。ボタン三個。スナップ五組。

作図と裁ち方・・ブラウスの下前身頃は、中央布を身頃につづけて裁ち出し、上前身頃は、中央布を別に裁ちます。

ぬい方・・**ブラウス**…肩・脇をぬって上前に中央布を表見返しにつけ、下前は裏見返しにします。衿はバイヤスで包みづけにし、袖口布をはさみづけます。

スカート…タックと脇をぬって前あきをととのえ、ベルトをつけます。

（**近見**（ちかみ）　**彌生**（やよい））

口絵11ページ⑮

華（はな）やかなブラウスとスカート

〔実物大型紙つき〕　原型(二)参照

ラッフルをつけた可愛（かわい）いブラウスと、フレヤースカートの若向き一揃い。

材料・・ブラウスはヤール幅で一メートル二十センチ（一ヤール四分）。ボタン五個。スカートはシングル幅で三メートル二十センチ（三ヤール六分）。七インチのジッパー一本。ボタン一個。

作図と裁ち方・・**ブラウス**…原型を写して身幅寸法を同寸にして丈を延ばし、衿ぐり・袖・脇線を図のように作図します。

スカート…図のように作図し、胴まわりだけ切り開きます。

ぬい方・・**ブラウス**…(1)=ダーツ・肩・脇をぬって袖口は五ミリ幅の玉縁につくります。後打合せを裏見返しにします。(2)=ラッフルは前後を接ぎ合わせてからぬいちぢめて衿ぐりに合わせ、やはり五ミリ幅の玉縁にぬいます。

スカート…脇をぬって割り、脇あきにジッパーをつけ、胴まわりにタックをとってベルトをつけます。

（**池田**（いけだ）　**淑子**（よしこ））

口絵12ページ① どなたにも向く素直なワンピース

原型（三）参照

プリントを生かしたプレーンなワンピース。スリーブレスで衿ぐりを大きくあけ、見るからに涼しそうな感じです。

材料・・シングル幅を三㍍三十㌢（三ヤール七分）。スナップ七組。

作図と裁ち方・・(1)＝前身頃はウエスト脇から切込みを入れて三か所をたたむと、左図のようにダーツが開きます。

(2)＝スカートは裾幅の広いフレヤーに作図し、脇側を縦地に裁ちます。

ぬい方・・(1)＝ダーツをぬい、肩・脇（左脇あきを残す）をぬって、衿ぐり・袖ぐりを裏見返しにつくります。

(2)＝スカートの中央・脇（左脇あきを残す）をぬって身頃と合わせて胴接ぎをし、脇あきは持出し見返しにつくります。裾は三つ折りぐけです。（笹原紀代）

口絵12ページ④ 大柄模様を生かしたドレス

原型（三）参照

首から離れたファーラウェイカラーの涼しそうなワンピース。身頃にもスカートにもタックをとった若向きです。

材料・・ヤール幅で四㍍四十㌢（五ヤール）。十二インチのジッパー一本。

作図と裁ち方・・原型を写して作図し、前身頃は下図のように衿ぐり側で五㌢切り開き、スカートはフレヤーのたっぷりした全円に作図します。

ぬい方・・(1)＝ダーツ・前中央をぬって肩・脇（左脇あきを残す）をぬいます。前身頃にタックをとって衿の両端を割接ぎして中表につけ、裏側はぬい目にまつります。袖ぐりはバイヤスで裏見返しにつくります。

(2)＝スカートの両脇（左脇あきを残す）をぬって胴接ぎをし、脇あきにはジッパーをつけます。（小笠原のぶを）

口絵12ページ⑤ 濃色の縁とりがスマートな若向き

原型（二）参照

衿ぐりとスカートに大胆な配色を使ったスマートなワンピースです。麻・オックスフォード・シャークスキンなどで。

材料・・ヤール幅で三㍍五十㌢（三ヤール九分）。配色布少々。十二インチのジッパー一本。

作図と裁ち方・・(1)＝原型を写し、脇線を移して前後の差をとり、前肩で削った分を後肩に加えて衿ぐりを大きくくりなおし、肩先を丸みにして袖ぐりをかきます。用布を裁つとき、身頃は衿ぐりの下までにし、衿・袖ぐりは約三㌢幅の見返し布を裁ちます。

(2)＝スカートは、図のように前後同寸に作図し、切替え線を記入します。配色布は脇で一㌢五㍉切替え線から上にしるして自然に結びます。配色布はいずれもバイヤスで上部をわに裁ちます。

ぬい方・・(1)＝ダーツをぬって中央側へ倒し、肩・脇（左脇あきを十五㌢残す）をぬって、ぬい代を割ります。

(2)＝配色布を幅二つ折りにし、

身頃と見返しの衿ぐりにはさんでぬい、ぬい代を五ミリ幅に裁ちそろえて裏に返します。袖ぐりは裏見返しにととのえます。

(3)=スカートの脇布の上部に配色布のバイヤスをはさんで中央布と接ぎ合わせ、ぬい代は脇布へ倒します。左脇あきを残して脇をぬって割ります。

(4)=身頃と合わせて胴接ぎし、脇あきはジッパーでととのえ、裾は三つ折りぐけにします。

(5)=ベルトをつくります。

（藤川延子）

⑤の身頃

⑥の家庭着

⑦のワンピース

ロ絵12ページ⑥

ボタンとボウが可愛い家庭着

前を裾まであけた、ごく着やすい奥様向きのホームドレスです。肩先にあきをつけたので手も自由に上がります。

材料・・シングル幅で三メートル五十センチ（三ヤール九分）飾りボタン二個。

作図と裁ち方・・簡単ですから原型を使わずに、すぐ図のように作図してください。記入の寸法は胸囲八十四センチにゆるみ十二センチを加え、背丈三十八センチ、スカート丈七十センチ、ウエストまわり六十六センチの標準寸法です。

ぬい方・・(1)=前後のダーツをぬって中央に倒し、肩・脇をぬいます。

(2)=打合せから後衿ぐりにつづけて前後の肩を接いだ見返し布をつけ、袖ぐりもあき止りまで共バイヤスで見返しをつけ、奥側は荒くまつります。

(3)=スカート布を接ぎ合わせて割り、見返しの奥側は端ミシンしておきます。

(4)=スカートのぬい目にこだわらず、ギャザーを寄せて胴接ぎをし、右脇にベルト通しの穴をかがり、ベルトを前端につけます。

（諸岡美津子）

ロ絵12ページ⑦

白ピケの衿がシックなプリンセス型

原型（二）参照

衿に白いピケをあしらった流行のプリンセスラインのワンピース。切替えを利用した箱ひだも若々しい感じです。

材料・・七十六センチ幅ものを四メートル四十センチ（五ヤード）。白のピケを少々。

作図と裁ち方・・(1)=原型を写して幅を同寸法にし、前肩で欠き落した分を後肩へ加えて衿ぐりを大きくくりなおし、肩線を延長して袖をかきます。

(2)=スカート丈を延長し、前後ともさきに腰幅・裾幅を決めてかいておき、脇線を袖口からつづけて裾まで引きます。中央からプリンセスラインの切替え線を入れひだ分を持ち出します。

ぬい方・・(1)=切替え線とひだ奥をそれぞれ地ぬいしてぬい代を割り、ひだ山をぴったりと突き合せに折ります。

(2)=肩・脇（左脇あきを残す）をぬい合わせてぬい代を割り、あきにはジッパーをぬいつけます。裾は三つ折りにしてまつります。

(3)=袖ぐり・衿ぐりは共バイヤスの見返し布をつけますが、衿ぐりには白のピケをのぞかせるため、ピケを六センチ幅のバイヤスに裁って二つ折りにしたものを衿ぐりの裏側へ重ね、奥側を見返しにとじつけてから、見返し奥をまつります。

（藤川延子）

仕立のらくな 真夏の子供服20種

口絵7ページ① つり紐を結んだ一、二才用ロンパース

暑さ知らずに過ごせる幼児のいたずら着。後だけ下げれば簡単に用も足せます。

材料・・シングル幅を八十糎(〇・九米)。ゴム紐少々。くるみボタン四個。

作図と裁ち方・・(1)＝パンツ原型を作図して写し、胴まわりを削り、脇線を切り離し、ギャザー分を加えます (2)＝前ベルト・つり紐は表裏二枚ずつ裁ちます

ぬい方・・(1)＝胸当布に見返しをつけ、両側を裏に折ってまつります。(上にはつり紐をぬってはさむ)

(2)＝胸当を表裏の前ベルトではさみづけ、パンツの前後股上を袋ぬいして、前パンツの胴まわりにギャザーを寄せ、表ベルトをつけ、裏ベルトをまつりつけます。後胴まわりは三つ折りぬいにしてつづけます。

(3)＝ゴム位置に裏から当布を当てて、両側にきわミシンをかけ、股下を袋ぬいにします。

(4)＝後ウエストと裾口にゴムを通します。

(田中　千代)

パンツ原型

胸囲(B)/4＋その1/5＝A(16)

①のロンパース

口絵7ページ② 刺繍のブラウスとパンツの一、二才用

上下二つに別れた楽しい遊び着。お魚刺繍で可愛くつくりましょう。

材料・・シングル幅で縞ものを六十五糎(〇・七米)。白ピケを同じ幅で二十八糎。ボタン二個。ゴム紐・刺繍糸少々。

作図と裁ち方・・ブラウス…図を参照して前後を重ねて作図し、中央をわに裁ちます。

パンツ…中央をわにして、前後同形に二枚裁ちます。

ぬい方・・ブラウス…前後の脇をぬって、衿ぐりと袖ぐり・裾に見返し布をつけますが、つり紐先は前後とも同形の力布をつけてください。裾の両脇にゴムを入れて腹囲に合わせ、前肩を穴かがりしてボタン止めにします

パンツ…ポケットをつけ、脇と股下をぬい、ウエストと足口を三つ折りぬいにしてゴム紐を通します。(竹内　菊代)

②のお魚と刺繍の仕方

②のブラウスとパンツ

口絵7ページ③ 飛魚アップリケの一、二才用ロンパース

前中央をボタンがけにした、おむつをはずしたばかりの幼児向きです。

材料・・シングル幅を六十五糎(〇・八米)。ボタン六個。アップリケ布とバイヤス布・ゴム紐を少々。

作図と裁ち方・・前中央布とパンツをつづけて作図し、用布を裁つときは後股下へ前中央布の股下を突き合わせて、一枚に裁ちます。

ぬい方・・(1)＝前パンツの前端を三つ折りぬいし、裾口から前中央布の周囲を

前中央布のアップリケ

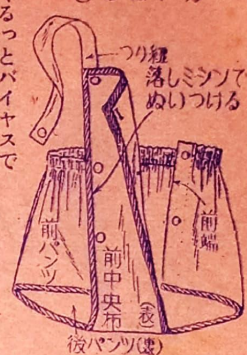
③のロンパース

③のぬい方

ぐるっとバイヤスで玉縁につくり、パンツの胴まわりを三つ折りぬいにしてゴム紐を通します。

(2)＝中央布の右側を落しミシンでパンツにぬいつけ、左側はボタン穴をかがり、アップリケをします。紐をつくってボタンがけにします。

（小笠原　のぶを）

④のボレロとワンピース

口絵7ページ④　五、六才用のボレロつきワンピース

原型（二）参照

衿ぐりにフリルをつけ、スカートも二段にギャザーをした、ボレロつきの外出着です。

材料…シングル幅を一メートル八十センチ（二ヤール）スナップ四組。鉤ホック一組。

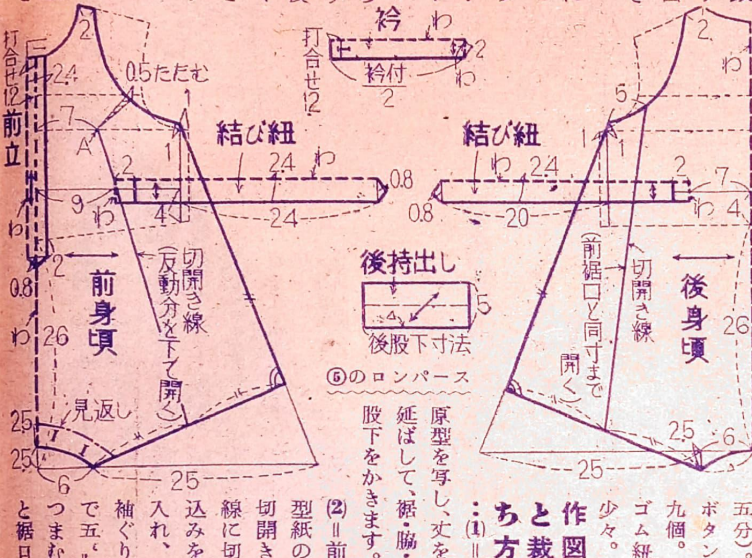
作図と裁ち方…フリルは三センチと四センチ幅で、長さは付寸法の一倍半くらいに用意します。

ぬい方…ワンピース…(1)＝肩・ダーツをぬってフリルをぬいちぢめ、衿ぐりまわりに二段につけ、衿ぐりと背あきを玉縁にします　(2)＝下のスカートにギャザーを寄せて上と接ぎ、胴接ぎをして脇をぬい、左脇あきに持出しと見返し布をつけます。

ボレロ…(1)＝ダーツをぬって肩・脇をぬい、裾から衿ぐりに見返しをつけます。(2)＝袖下をぬい、袖口をぬいちぢめて玉縁にとり、袖付はギャザーを寄せて身頃につけます。

（小笠原　のぶを）

口絵7ページ⑤　スタンドカラーの二、三才用

原型（二）参照

縞を横に扱ったロンパース。股下をボタンがけにした着やすい型です。

材料…シングル幅で一メートル三十センチ（一ヤール五分）。ボタン九個。ゴム紐少々。

作図と裁ち方…(1)＝原型を写し、丈を延ばして、裾・脇・股下をかきます。(2)＝前型紙の切開き線に切込みを入れ、袖ぐりで五ミリつまむと裾口が自然に開きますから、この分を入れて布を裁ちます。後身頃も前裾口と同寸まで切り開きます。

⑤のロンパース

ぬい方…(1)＝前身頃中央に、上前・下前とも前立をぬいつけます。(2)＝肩・脇を袋ぬいにし、裾口を三つ折りぬいにして、前股下へ見返し布、後には持出し布をつけ、衿・紐をぬってつけます。

（近見　彌生）

⑤のロンパース

口絵7ページ⑥　衿と身頃に縦縞を通した六、七才用

原型（一）参照

変り型セーラーカラーの通学服。衿は取りはずしのきくようにつくりました。

材料…シングル幅を一メートル五十センチ（一ヤール七分）。白布を少々。スナップ十二組。

作図と裁ち方…(1)＝前後の原型を写してダーツをとり、脇線を訂正します。(2)＝スカートは中央をわにして身頃と同様に横布で前後同寸に裁ちます。(3)＝衿は原型の肩先を重ねて図のように

⑥のワンピース

作図し、テープ位置もかいて、一枚裁ちます。

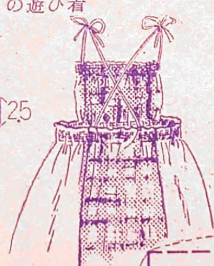
ぬい方…(1)=前後身頃のダーツをぬって、前身頃にテープ(この場合は共布の縞を接いで利用)をぬいつけ、右肩・脇(左脇あきを残す)を袋ぬいにします。

(2)=前スカートにテープをつけて、脇をぬい合わせ、(左あきを残す)ギャザーを寄せて胴接ぎをします。

(3)=脇あきと左肩を、持出し見返しにととのえ、衿ぐり・袖ぐりに共のバイヤス布で見返しをつけます。

(4)=衿は、テープをぬいつけてから外まわりを同形に裁った見返し布かバイヤス布で始末し、衿付側はバイヤス布で玉縁にくるんでおきます。

身頃につけるときは、スナップ止めにしますが、しつけでとめても結構です。

（山田 禎子）

⑦のワンピースと前立のつくり方

口絵7ページ⑦

縁布で引きたてた九、十才用簡単着

原型(一)参照

前立とカラーのまわりにパイピングをしただけの、さっぱりしたドレスです。

材料…シングル幅を一メートル九十五センチ(二ヤール二分)。ボタン六個。ベルトと玉縁用のバイヤス布少々。スナップ六組。

作図と裁ち方…(1)=身頃の原型を写して衿ぐり線を訂正します。

(2)=衿は、原型の肩先を重ねてフラットカラーにかき、一枚を裁ちます。

(3)=前身頃・スカートとも前立のつく部分は、ぬい代なしに裁ちます。

ぬい方…(1)=身頃のダーツをぬって肩・脇をぬい、袖はバイヤス布でくるみづけます。

(2)=衿の外まわりを玉縁に包んでから、衿付は身頃裏に衿の表を当ててぬい返します。

(3)=前後スカートを接いで割り、胴接ぎをします。

(4)=前立は上図①のように上前立をつくり、②③のようにぬいつけます。

（南塚 トキ）

⑧のボレロつきの遊び着

口絵8ページ⑧

三、四才用ボレロつきの遊び着

原型(一)参照

残り布を利用した遊び着。ボレロはひんやりする朝晩などに。このように二種類の布を使うときは、一種を無地ものにします。

材料…シングル幅で格子は七十七センチ(〇・九ヤール)。白は六十五センチ(〇・八ヤール)。ゴムテープ一メートル十センチ。

作図と裁ち方…

ボレロ…原型を写して、脇をわに作図して裁ちます。袖紐は四本、前紐は二本を格子布で裁ちます

ぬい方・**ボレロ**…肩をぬい合わせて外まわりは全部バイヤスで見返しをつけますが、袖ぐりと前端には袷にぬった飾り紐をはさみづけにします。

遊び着…後と脇のスカートを接いで上を三つ折りにしてから、ウエストに、当布をぬいつけた前スカートを接ぎ合わせます。胸もとを三つ折りぬいにして、胸もと・ウエストまわりに二本ずつゴムテープをつけます。

つり紐をぬってつけます。

（南塚 トキ）

口絵8ページ①
上下つづきの五、六才用遊び着
原型(一)参照

コンビネーション式の遊び着。男児には、このようにあっさりしたものが似合います。

材料・・シングル幅で一メートル三十センチ(一ヤール四分)。ボタン四個。玉縁布少々。

作図と裁ち方・・(1)=前後の原型を脇で二センチ重ねて写し、脇線を延長して股上・股下寸法をしるします。

(2)=前打合せと股上・股下をつづけて図のように作図し、後股上は前の○標の1/2だけ出して図のようにかき、裾線を引きます。

ぬい方・・(1)=前打合せのあき止りへ斜めに切込みを入れて、見返し布をつけ、奥側をまつります。

(2)=前後の股上と後中央をそれぞれぬい、股下をぬい合わせます。

(3)=肩をぬい合わせ、衿ぐり・袖ぐりは見返しをつけてととのえ、ポケットは左図のように周囲を玉縁にぬってからはりつけます。

(4)=裾を三つ折りにして、ミシンぬいします。(原田茂)

①の遊び着

①のぬい方

口絵8ページ②
エプロン風の二、三才用いたずら着
原型(三)参照

猫のアップリケも可愛いポンチョです。

材料・・ポンチョは三十センチ幅で丈八十センチほど。パンツはシングル幅を六十センチ。配色布少々。ゴムテープ少々。

作図と裁ち方・・ポンチョ…衿ぐりを図のように直接布にしるして裁ちます。**パンツ**…前パンツを作図し、つぎに後パンツを重ねて作図します。

ぬい方・・ポンチョ…(1)=アップリケの図案どおりに布を切って薄糊ではり、ハーフボタンホールで押えます。

(2)=衿ぐりから背あきを共バイヤスで玉縁に包み、両脇と裾は三つ折りにしてまつります。紐を二十五センチの長さに十本つくって、後衿ぐりと両脇につけます。

パンツ…前後の股上・股下をぬって割り、脇ぬいします。裾とウエストは三つ折りぬいにし、ウエストにゴムテープを入れます。(笹原紀代)

②のポンチョ

②の図案とぬい方

②のパンツ

口絵8ページ③
象さんアップリケの三、四才用
原型(二)参照

変り型のボレロを組み合わせた遊び着です。オックスフォード・ブロードなど洗たくのきく丈夫な布で。

材料・・シングル幅で一メートル三十五センチ(一ヤール五分)。ボタン九個。アップリケの布とゴム紐を少々。

作図と裁ち方・・ロンパース…(1)=胴まわりをウエスト線から七センチ上げて引き、股下で、前後の差をつけて裾口線・股下線を入れます。

(2)=股下の見返しは前後とも付寸法で前は二センチ五ミリ幅、後は五センチ幅の共バイヤス布を裁ちます。

③のロンパースとボレロ

③のアップリケ

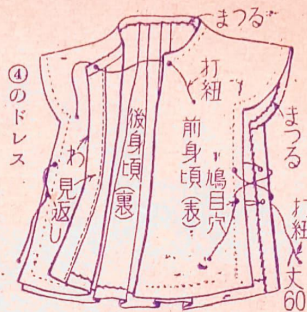
ぬい方・・ボレロ…肩・脇をぬって見返しを裏へ折り、衿の外まわりをぬって衿付をし、カフスはバイヤスに裁ってつけます。裾を三つ折りにしてまつります

ロンパース…(1)=胸当の外まわりに見返し布をつけて、表から五ミリ幅にステッチします。

(2)=タックをつまんで脇を袋ぬいにし、胴まわりと裾口を三つ折りにして上下にミシンをかけてゴム紐を通し、前股下に見返し布、後股下に持出し布をつけます。

(3)=つり紐をぬって前はボタン止めにし、後は交差させてとめつけます。(**近見彌生**)

④のドレス

口絵8ページ④ 赤ちゃん用の涼しいドレス

着せやすく脱がせやすいドレスです。タオル地やネンスークなど柔らかい布で何枚もつくっておくと、一日に何度でも着替えられて便利です。

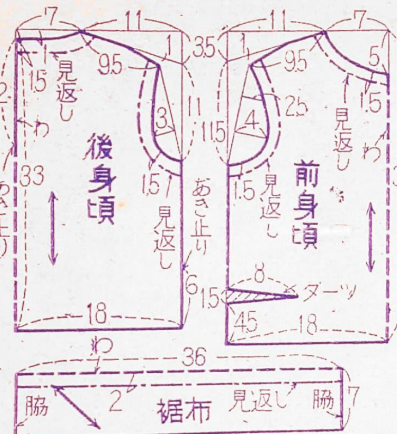
材料・・シングル幅で九十五センチ(一ヤール一分)。打紐を約一メートル七十センチ。

作図と裁ち方・・前後とも矩形をつくって、衿ぐり・肩・脇の順に作図します。記入の寸法は標準寸法ですが、赤ちゃんは太りかげんによって非常に寸法が違うので、脇も衿ぐりも紐で調節するようにしましたが、非常に太っている場合は、衿ぐりは大きくします。

ぬい方・・(1)=肩を接いでタックをたたみ、前見返しを裏へ折って、奥側に端ミシンして甃くまつります。

衿ぐりは共バイヤスで上図のように裏見返しにします。

(2)=袖口から脇も共バイヤス一センチ五ミリ幅の見返しをつけ、裾は三つ折りぐけにします。配色のよい布のループか、打紐を上図を参照して、衿もとと両脇の三か所につけて結びます。(**山田禎子**)

④のブラウスとパンツ

口絵9ページ⑧ 五、六才用の袖なしブラウスとパンツ

男児向きのあっさりした一揃いです。胸のイニシアルもはっきりしていて子供には喜ばれましょう。ブラウスは木綿・麻など、パンツは化繊です。

材料・・ブラウスはシングル幅で八十センチ(〇・九ヤール)。パンツはシングル幅で一メートル二十五センチ(一ヤール四分)。スナップ三組。

作図と裁ち方・・胸囲五十七センチにゆるみを十五センチ入れ、ブラウス丈は三十二センチ、パンツ脇丈三十五センチの標準寸法で作図してあります。

ブラウス…裾布はパンツの残り布でバイヤスに裁ちます。

パンツ…前パンツからさきにかき、つぎに後パンツを作図します。

ぬい方・・ブラウス…(1)=前身頃の胸にイニシアルをパンツ布でぬいつけ、脇ダーツをぬって図を参照して前後身頃に裾布をつけ、肩と脇をぬい合わせ、左脇あきの始末をします

(2)=後中央あきに見返しをつけ、衿・袖ぐりは共の見返しでととのえ、あきにスナップをつけます。

パンツ…前後の股上を伸ばしてぬって割り、(前には袷にぬった当布を右側につける)脇・股下もぬい合わせて割ります。裾口と胴まわりは三つ折りにしてミシンをかけ、胴まわりにはゴムテープを通します。(**山田禎子**)

⑧のアップリケ

⑧のぬい方

口絵9ページ⑨ 三、四才用のボレロとロンパース

胸当に可愛い兎のアップリケを使ったロンパースと、ちゃんちゃんこのようなボレロを組み合わせたいたずら着。お洗たくのきく木綿類で。

材料・・ロンパースはシングル幅を八十

センチ（〇・九ヤード）。ボレロは同じ幅を三十センチ。

ゴムテープ五十センチ。ボタン五個。

作図と裁ち方…ロンパース…胸当は図の寸法に兎の顔をかき、パンツは二十五センチの正方形をつくって、前後とも図のように作図し、中央をわに裁ちます。

ボレロ…後中央をわにして前後身頃を図のように裁ちます。

ぬい方…ロンパース…(1)＝兎の顔を刺繍して裏布を重ね、周囲を玉縁にくります。

(2)＝股下を持出し見返しにつくり、脇を袋ぬいにして裾は見返しに仕上げます。

(3)＝胴まわりを三つ折りにした上へ胸当をぬいつけ、ウエストにゴムテープを入れます。

つり紐は後にとじつけ、前はボタン止めにします。前股下にボタン穴をかがり、持出しにボタンをつけます。

ボレロ…肩を袋ぬいにして裾を三つ折りにしてまつります。

前端と衿ぐり・脇は、配色布で五分幅の玉縁に包んで、脇と前に紐をとじつけます。

（木崎都代子）

口絵9ページ⑬

デニムの丈夫な四、五才用

原型（二）参照

デニムでつくったしゃれたオーバオールで、ステッチをきかせます。

材料…シングル幅で一メートル十センチ（一ヤード二分）。ボタン四個。ゴムテープ一メートル二十センチ。

作図と裁ち方…(1)＝パンツの型紙を下図のようにH/4十八センチ、脇丈三十四センチ五ミリの矩形をつくって、まず前パンツを作図し、後パンツを重ねてかきます。

(2)＝身頃の原型を写して、前後を図のようにかき、その下へさきに裁ったパンツをウエスト線と突き合せにして据え、周囲を写します。

(3)＝ポケット・シックも二枚ずつ裁ち、つり紐は前後つづけて幅を二倍に用意します。

ぬい方…(1)＝前パンツにポケットをのせ、二本のステッチで周囲をぬいつけ、後パンツにはシックを表から当てます。

(2)＝前後の股上・股下・脇をぬいますが、前股上にあきをあけ、股下・脇は前へ倒して押えミシンをかけます。

(3)＝ウエストの裏側へ当布をしてステッチをかけ、ゴムテープを通し、裾と胸まわりは三つ折りにしてミシンをかけ、つり紐をぬって後にとじます。

（近見彌生）

⑬のパンツ

口絵8ページ⑭

七、八才用のブラウスとスカート

原型（二）参照

衿もとのあいたパフスリーブのブラウスと、タックのあるスカートの組合せ。

材料…ブラウスはヤール幅で九十センチ（一ヤール）。スカートは同じ幅ものを一メートル五十五センチ（一ヤール七分）。ボタン九個。ゴムテープ。

作図と裁ち方・・ブラウス…(1)=原型を写して丈を延ばし、衿ぐりをくって肩線を引きなおし、袖をつづけて作図します。衿ぐりに沿って衿をかきます。

(2)=身頃と袖に切込みを入れて右図のように切り開きます。

スカート…右図のように切り開きます。

ぬい方・・ブラウス(1)=肩・脇をぬって割り、前端に見返しをつけます。

(2)=袖口は見返し布をつけてゴムを入れ、衿は外まわりをぬって表に返し、身頃の衿付側にギャザーを寄せてはさみづけます。裾をまつり、タックをとってその上にボタンをつけます。

スカート…脇あきを残して脇をぬって割り、タックを表からつまんでぬいます。脇あきをつくり、ベルトをつけます。

（池田　淑子）

口絵8ページ⑮ セーラーカラーの八、九才用

原型(一)参照

白の麻・ブロードなどでつくりたい、スリーブレスの軽快なワンピースです。

材料・・ヤール幅で一メートル四十センチ(一ヤール六分)。配色を同じ幅で十センチくらい。バックル一個。スナップ十四組。

作図と裁ち方・・(1)=前後の原型を写して幅を詰め、衿ぐりを後は一センチ大きく、前は図のように三角に欠きます。

(2)=衿は、身頃の肩先を肩幅の四分の一だけ重ねて作図し、一枚裁ちます。

(3)=スカートは布幅を二つに折り、図のようにしるします。ひだの幅と深さの決め方は図の算式をご参照ください。

ぬい方・・(1)=身頃のダーツをぬい、右肩と脇(左脇あきを残す)をぬいます。

(2)=衿の縁に配色布を表見返しにつけておき、左図のように前中央から後衿ぐりは左肩までバイヤスでくるみづけ、あとは玉縁に包んでおき、左前身頃の衿ぐりは裏見返しをつけて、左肩はあきにつくりスナップ止めにします。

(3)=胸当布は袷につくってスナップ止めにし、袖ぐりはバイヤスで裏見返しに始末します。スカートの両脇(左脇あきを残す)をぬって割り、ひだを前で左脇に向けて車ひだにたたみ、ひだ山へ飾り布をのせて周囲をぬい押えます。つぎに胴接ぎをし、脇あきの始末をします。裾を三つ折りにしてまつり、配色布のボウをつけます。

（小池　千枝）

口絵9ページ⑯ 大きなカラーの八、九才用

原型(二)参照

縞を上手に生かした女児用ワンピースで、夏の外出着によいものです。

材料・・ヤール幅で一メートル八十センチ(二ヤール)。ボタン三個。七インチのジッパー一本。

作図と裁ち方・・(1)=前後の原型を写して丈を二センチ詰め、前肩を一センチ欠き落してこの分を後肩に加え、衿ぐりで五ミリ出して肩先を一センチ五ミリ出します。

(2)=衿は前後身頃の肩先を三センチ重ね、その上へ図のように作図し、前側の外まわり線を縦地にとります。

(3)=スカートはギャザー分を中央へ出し、前丈は後よりベルト幅だけ詰めます。

ぬい方・・(1)=衿は後中央を接ぎ、外まわりに共布で裏見返しをつけます。

(2)=肩をぬい合わせて、衿付は次ページの図①のように衿ぐりはバイヤス、前は胸当をのせてぬい、ぬい代は②のように始末します。

(3)=前身頃にベルトをつけますが、衿先ははねておき、あとからまつります。前後別々に胴接ぎします。左脇あきを

残して脇ぬいをしますが、このとき右ベルトをはさみづけ、左脇あきにジッパーをつけ、同時にベルトをつけます。

口絵9ページ⑰

七、八才用のボレロとスカート

原型（一）参照

（藤川延子）

ストライプを配色にしたボレロとスカートの組合せです。

材料…ヤール幅で一メートル八十センチ（二ヤール）、縞布を同じ幅で四十センチほど。

作図と裁ち方…**ボレロ**…(1)＝原型を写して丈を五センチ詰め、肩幅を二センチ出して先を五ミリ削ります。

前衿ぐりは三角にあけます。

(2)＝肩先を三センチ重ねて前後の原型を写し、大きな衿を図のように作図します。

スカート…(1)＝幅を（ ）内の寸法の三倍にしますと、ひだ奥の深さがひだ幅と同寸になります。

(2)＝ひだの決め方はW寸法をひだ数で割るとひだ幅の寸法が出、布幅からW寸法を引いてひだ数で割ったものが陰ひだの寸法となるわけです。

ぬい方…**ボレロ**…(1)＝肩・脇をぬい合わせて割り、裾を三つ折りにします。

(2)＝衿の外まわりを縞で表見返しに縁とりしますが、かどはきちんと額縁にぬいます。バイヤスで身頃にくるみづけますが、前端は見返しを中表に折り返してはさみづけにします。

スカート…裾を三つ折りにして右図のようにひだを前中央から左右に向って折りたたみ、布幅を接ぎ合わせますが、前中央から三本目のひだの間に縞を接ぎ込んで変化をつけ、ベルトに心を入れてはさみづけ、つり紐をつけます。（原田茂）

口絵9ページ⑱

十一、二才用の通学向き

原型（一）参照

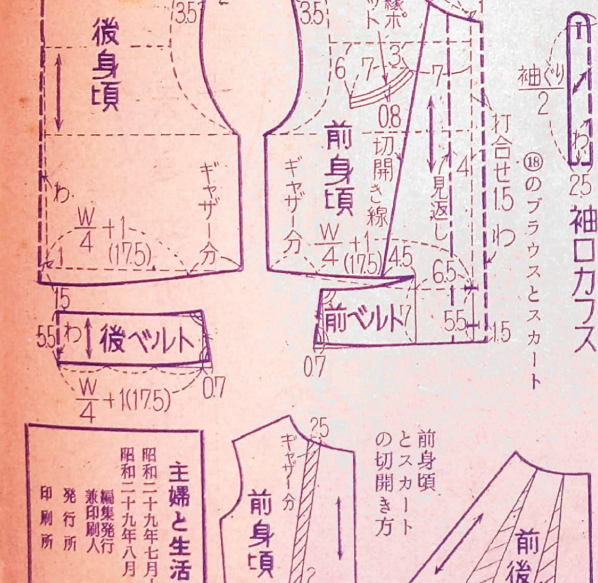
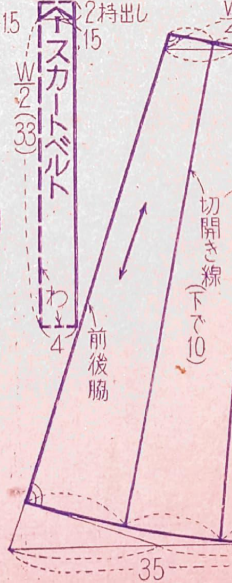
白いフレンチのブラウスに格子のスカートの、なにげないようでいて流行を巧みに取り入れたスタイルです。

材料…ブラウスは、シングル幅を一メートル（一ヤール一分）。ボタン三個。スナップ三組。スカートは、ヤール幅を一メートル四十センチ（一ヤール五分）。ボタン一個。七インチのジッパー一本。

作図と裁ち方…ブラウス・スカートとも図のように作図し、左図のように切り開きます。

ぬい方…**ブラウス**…前身頃に玉縁ポケットをつくり、肩・脇をぬいます。

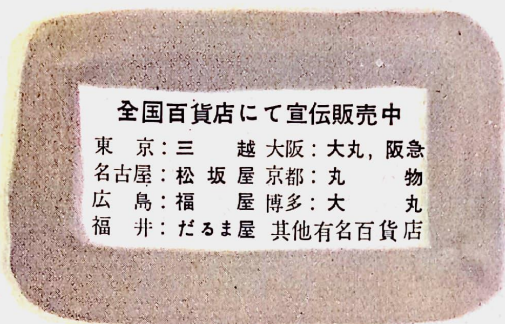
前後ベルトを接いで身頃にギャザーを寄せてつけ、衿の外まわりをぬい、見返しを裏へ折って衿付をします。カフスをつけ、裾は三つ折にまつります。

スカート…左脇あきを残して両脇・前後中央をぬって割り、あきはジッパーをつけ、ベルトをつけます。（野口益栄）

主婦と生活第九巻第八号付録
昭和二十九年七月十五日印刷
昭和二十九年八月一日発行
編集発行兼印刷人 大島秀一
発行所 主婦と生活社
印刷所 二葉株式会社

技術の習得は
編物不二会で……

全国百貨店にて宣伝販売中

東　京	三　越	大阪	大丸，阪急
名古屋	松坂屋	京都	丸　物
広　島	福　屋	博多	大　丸
福　井	だるま屋	其他有名百貨店	

定　価

新型ケース入	
150目	¥7,000.00
170目	¥7,500.00
新型 2 号機	
140目	¥6,000.00
170目	¥6,500.00
2 号機	
140目	¥5,500.00
170目	¥6,000.00

スマートで便利なケース入新型機いよいよ発売

文部省教育用品斡旋
大阪府推奨

不二式高速編物機

新型ケース入一五〇目機

朝日放送
毎木曜日　朝8.00
朝のスイング

株式会社 不二高速編物機工作所　編物不二会
神戸市灘区仲原通り7丁目15番地
出張所　東京　名古屋　仙台　岡山　福岡，支店　ブラジル　東京

昭和二十九年七月十五日印刷 昭和二十九年八月一日発行 昭和二十四年三月二十八日日本国有鉄道特別扱承認雑誌第二六八号

Printed in Japan
大日本印刷株式会社印刷